

むつ市総合経営計画・実施計画

(平成29年度～平成33年度)



平成29年6月

青森県むつ市

目次

目 次

【1】実施計画の概要	1
1. 意義・目的	2
2. 計画期間	2
3. 対象事業及び策定の考え方	2
4. 構成	2
5. 計画マネジメント	2
6. 用語等の説明	3
【むつ市総合経営計画 体系図】	5
【2】施策シート	7
1. 元気の向上	8
(1) 地方創生	8
(2) 産業・雇用	9
(3) 市民協働・コミュニティ	14
(4) 男女共同参画・女性活躍	18
2. 暮らしの向上	20
(1) 健康・福祉	20
(2) スポーツ	29
(3) 環境	30
(4) コンパクト・プラス・ネットワーク	34
(5) 行財政基盤	39
3. 教育の向上	44
(1) 教育	44
4. 安全の向上	51
(1) 安全・安心	51
5. 魅力の向上	56
(1) ジオパーク	56
(2) 観光・物産	58
(3) 景観	60
(4) 国際・都市間交流	61
(5) 海洋科学研究拠点	62

【3】 事務事業一覧表	63
(事業費総括表)	64
(事業別データ)	66
1. 元気の向上	66
(1) 地方創生	66
(2) 産業・雇用	67
(3) 市民協働・コミュニティ	72
(4) 男女共同参画・女性活躍	74
2. 暮らしの向上	75
(1) 健康・福祉	75
(2) スポーツ	84
(3) 環境	84
(4) コンパクト・プラス・ネットワーク	86
(5) 行財政基盤	89
3. 教育の向上	92
(1) 教育	92
4. 安全の向上	97
(1) 安全・安心	97
5. 魅力の向上	100
(1) ジオパーク	100
(2) 観光・物産	100
(3) 景観	102
(4) 国際・都市間交流	102
(5) 海洋科学研究拠点	102

【 1 】 実施計画の概要

1. 意義・目的

むつ市総合経営計画は、市民と行政が協働しながら、今後のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するために策定したもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。

「実施計画」は、「基本構想」で掲げた将来像の実現のため、「基本計画」で定めた施策の実施に関して、具体的な事業内容を体系的にまとめたものです。(5頁の「施策の体系図」を参照)

なお、「実施計画」は毎年度の予算編成の指針とするものであり、財政運営との整合性を勘案し、可能な限り実効性を確保するため、毎年度、見直し(ローリング)を行います。

この「実施計画」に基づき、「経営」という観点から、「最少の経費で最大の効果」が得られるよう、人員や財源が限られた中であっても、人材や組織、施設、情報などの政策資源の有効活用や効果的・効率的な配分を行い、市民と協働しながら取組を進めることで、『笑顔かがやく 希望のまち むつ』の実現を目指します。

2. 計画期間

平成29年度から平成33年度までの5か年を計画期間としています。

3. 対象事業及び策定の考え方

一般会計及び特別会計における政策的なソフト事業(市独自の事業等)及びハード事業(維持補修等の軽微なものを除く投資的経費)を対象にしています。

計画の策定に当たっては、現下の財政状況を踏まえつつ、事業の緊急性、重要性及び必要性等を勘案し、取りまとめています。

4. 構成

1年単位で施策の進捗管理や効果検証を行うための「(1)施策シート」と施策に紐づく個別の事務事業に係る5か年計画を一覧にした「(2)事務事業一覧表」で構成します。

(1)施策シート

55の施策ごとに作成し、施策に対する年次目標(アウトカム目標)を設定することで、施策の計画的な推進と効果的な施策への改善を実現するものです。

また、施策シートに基づき、庁議等において、施策の進捗状況や年次目標の達成状況を報告し検証することで、年度中途においても、施策のきめ細かな調整・修正を可能とするものです。

(2)事務事業一覧表

事務事業ごとに設定した業績評価指標により、事務事業の進捗状況と達成状況を把握し検証することで、より効果的な事業への改善や真に必要な事務事業の選択へとつなげるものです。

5. 計画マネジメント

事業担当課や担当部局による内部評価だけでなく、必要に応じて市民アンケートを実施するとともに、「むつ市総合開発審議会」による外部評価を実施することで、効果的かつ効率的観点から実施計画の見直しを行います。

6. 用語等の説明

(1)「施策シート」

①基本方針

むつ市総合経営計画の将来像『笑顔かがやく 希望のまち むつ』の実現のために定めた方針です。

②施策項目

基本方針に基づく分野ごとの施策の区分です。

③施策内容

基本方針に基づく施策項目をより詳細に分類した施策の区分です。

④施策関係部局

当該施策に特に関係する部局の区分です。

⑤基本計画におけるKPI(重要業績評価指標)

「基本計画」において設定している施策ごとの進捗状況を検証するための指標です。

⑥現状と課題

当該施策の現状と課題です。

⑦年次目標(アウトカム目標)

「基本計画におけるKPI」の達成のために設定した、当該施策の単年度の目標です。

⑧達成時の効果

当該施策の「年次目標(アウトカム目標)」を達成した場合に生じる効果です。

⑨平成29年度の主な取組(主要事業)

当該施策における平成29年度の主な取組内容です。「事務事業一覧表」に掲載されている事務事業の中で主なものとなります。

⑩年間スケジュール

当該施策の「年次目標(アウトカム目標)」達成のための取組に係る年間計画です。

(2)「事務事業一覧表」

①基本方針

むつ市総合経営計画の将来像『笑顔かがやく 希望のまち むつ』の実現のために定めた方針です。

②施策項目

基本方針に基づく分野ごとの施策の区分です。

③施策内容

基本方針に基づく施策項目をより詳細に分類した施策の区分です。

④事業名等

施策内容に紐付く個別の事務事業の名称等です。

⑤事業区分

「ソフト事業」及び「ハード事業」の区分です。

⑥実施主体

事業の実施主体となる「市」や「県」などのことです。なお、団体等へのソフト事業に対する補助及び助成等については「補助」としています。

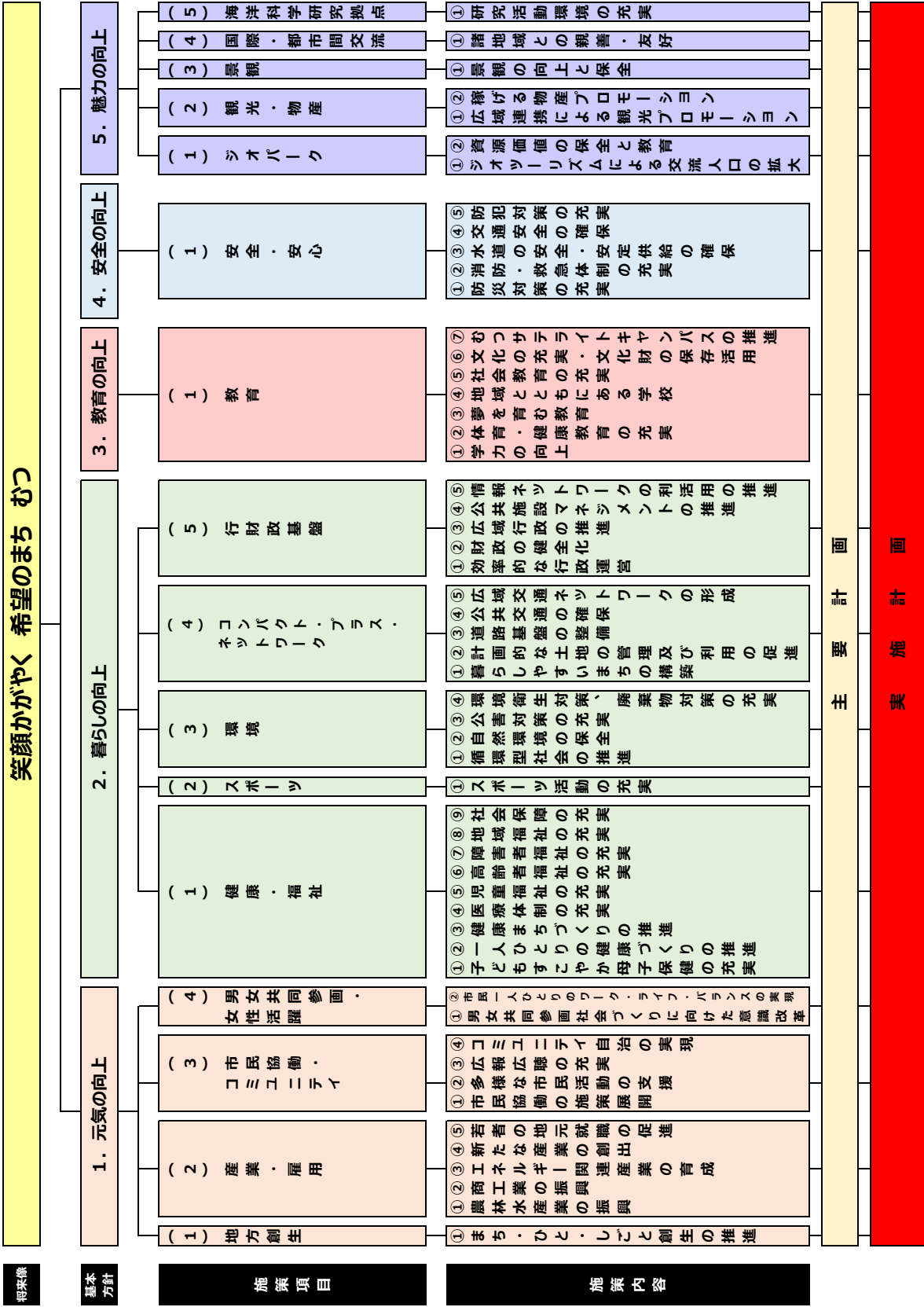
⑦対象地区

当該事業の対象となる地区のことで、「全域」、「むつ」、「川内」、「大畑」及び「脇野沢」で区分しています。

⑧業績評価指標

事務事業の進捗状況を検証するために設定する指標です。

むつ市総合経営計画 体系図



【2】 施策シート

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上										施策関係部局					
	施策項目	(1)地方創生										企画部、経済部、 教育委員会事務局					
	施策内容	①まち・ひと・しごと創生の推進															
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)					
		人口減少の抑制(国勢調査)					58,493人(H27.10.1)					55,569人以上					
		【参考指標】人口減少の抑制(住民基本台帳人口)					60,880人(H27.9.30)					57,836人以上					
現状と課題		<p>全国的に人口減少が進行する中、本市においても人口減少や少子高齢化が顕著に見られ、今後更に進行していくと予測されている。</p> <p>このことは生活機能の低下や地域経済の縮小をもたらすことから、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある地域社会の維持・発展につながる施策を総合的かつ戦略的に展開する必要がある。</p>															
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
		①	住民基本台帳人口 59,663人以上						①	人口減少を最小限に抑えることにより、生活機能及び地域経済の維持につながる。							
		②							②								
		③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を活用したPDCAサイクルの運用により、まち・ひと・しごと創生に向けた施策の効果的かつ効率的な推進を図る。【総合戦略推進事業】</p> <p>◆特産品の海外や西日本への販路拡大や生産拡大を支援するとともに、アグリビジネスの推進及び海自カレーのブランド化に取り組む【「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業】</p> <p>◆従来の創業支援に加え、eラーニングによる支援を新たに実施し、下北ビジネスプランコンテストを実施する。【創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業】</p> <p>◆むつサテライトキャンパスを活用した教育機会の充実、第2種放射線取扱主任者の資格取得支援、地元高校からの医学部入学者への学費助成を行う。【次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト事業】</p> <p>◆しもきたDMO設立に向けた体制整備を進めるとともに、ジオパークの要素を含んだ着地型旅行商品の開発等に取り組む。【下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業】</p> <p>◆毎春陸奥湾に來遊するカマイルカの基礎調査及びドルフィンウォッチングモニターツアーを実施し、ふれあいビーチ開設に向けた準備作業等に取り組む。【<まち・ひと・いるか>イルカと人との共生によるふれあいビーチinむつわん事業】</p>															
		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
		①	計画	地方創生推進交付金及び企業版ふるさと納税制度を活用し、地方創生に向けた取組を推進													
						市民アンケートの実施、取りまとめ		推進会議(外部有識者会議)	議員説明会 総合戦略改訂						予算編成		3月議会
		②	計画														
		③	計画														

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上										施策関係部局			
	施策項目	(2)産業・雇用										経済部			
	施策内容	①農林水産業の振興													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		農業生産額					2,349百万円(H25年度)					2,584百万円			
		林業生産額					255百万円(H25年度)					280百万円			
		漁業生産額					1,949百万円(H25年度)					2,143百万円			
現状と課題		<p>本市は、三方を海に囲まれ、沿岸部では漁業が、内陸部では豊かな森林資源を活かした林業と、平地での農業が営まれてきた。近年、食の安全、健康志向など多様化する消費者ニーズや農山漁村が持つ多面的機能に期待が高まる中、生産者の高齢化や後継者等の担い手不足などにより、生産構造の脆弱化が進んでいる。</p> <p>漁業では魚価安や資材価格の高騰、海洋環境の変動等に起因する不漁、後を絶たない密漁被害など漁業経営を取り巻く環境は厳しく、取引価格の向上や作業の省力化・効率化、経営の合理化などが求められている。また、生産・流通基盤施設の整備は進んでいるが、施設の老朽化に伴い増大が見込まれる維持管理コストの低減や機能の保全が課題になっている。</p> <p>農林水産業では、気候条件や地域性を活かした野菜の産地化、肉用子牛の産地化、乳製品やワインのブランド化、木材資源の利用促進等の生産強化や高付加価値化が求められている。</p>													
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容					
		①	農業生産額 2,470百万円						①	農業者が農業収入により、生活基盤を確立できるようになれば、地域や集落の賑わいにつながり、若者の就農への意欲も高まる。					
		②	林業生産額 268百万円						②	林業生産額が向上することにより、雇用の創出や、森林の保全、水源の涵養につながり、地域の経済はもとより、環境保全にも効果が期待できる。					
		③	漁業生産額 2,050百万円						③	漁業生産額の向上により、漁業者所得が高まり、漁業経営の安定化や漁業の魅力アップへとつながり、後継者・新規就業者確保が期待できる。					
(主要事業)	平成29年度の主な取組	<p>◆地域のブランド野菜として定着しつつある、「一球入魂かぼちゃ」の生産量拡大を目指し、地方創生関連交付金事業を活用した生産農家への支援を実施する。【「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業(一球入魂かぼちゃ)】</p> <p>◆漢方の材料となる薬草をむつ市の新農産物と位置づけ、振興を図るため試験栽培を行う事業者に交付金を交付する。【セルフメディケーション産業調査研究事業】</p> <p>◆市有林の手入れや、林道の巡回などにより、次世代の財産となる市有林を人員を配置し適正管理を行う。【市有林管理事業】</p> <p>◆ニホンザルによる農作物の食害防止のため、モンキードッグや鳥獣被害対策実施隊を配置し、農作物被害及び人的被害を防ぐ。【鳥獣害総合対策事業】</p> <p>◆市有牛の貸付及び譲渡により有畜農家の普及を図り、畜産の振興及び農業経営の安定を図る。【市有牛貸付事業】</p> <p>◆漁協が海外販路を開拓するための海外商談会への参加を支援する。【「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業(海外展示商談会・見本市)】</p> <p>◆不漁による漁業損失を補填する漁業共済への加入を促進し、経営安定に資するための掛金の一部を助成する。【むつ市漁業共済掛金補助事業】</p> <p>◆サクラマス、ヤマメ、アユ、アワビ、マダラ、ナマコの人工種苗等放流事業の経費の一部を助成する。【川内地区サクラマス種苗放流事業・大畑地区各種種苗放流事業・栽培漁業総合振興対策事業】</p> <p>◆ナマコの育成・成長に適した基質(ホタテ貝殻)を敷設することにより、資源増加を図るための経費の一部を助成する。【ホタテ貝殻を活用したナマコ増殖場造成事業】</p>													
		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		①	計画		研修会			研修会				実績検討会		事業評価	
		②	計画		林道整備		林道整備		林道整備		搬出除間伐				
		③	計画	補助金内示/交付決定			進捗管理						実績確認/事業評価 /事業改善		

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局				
	施策項目	(2)産業・雇用											経済部				
	施策内容	②商工業の振興															
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値			目標値(H33年度)						
		田名部地区2商店街の路面店空き店舗数						14店舗(H27年度)			9店舗						
		クラウドファンディング(アグリビジネス)活用件数(累計)						2件(H27年度)			7件						
現状と課題		<p>地域経済は人口減少やインターネット等による通信販売型の消費拡大の影響を受け、産業構造・消費者ニーズの変化に対応できない事業所では販売力の低下が続いており、売上高の減少が課題となっている。更に中心市街地の商店街では、大型店の域外進出による集客力の低下、経営者の高齢化や後継者の見通しが立たないなどの様々な理由から廃業に至った空き店舗が増加し、経済活力が低下傾向にある。</p> <p>本市における工業については、大湊・大平地区をはじめとして、その他の地区でも誘致企業などが操業しているものの、全市的な工業の経済活力は低下傾向にある。</p>															
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容										達成時の効果				
		①	創業相談件数 20件														
		②	創業融資利子補給金の活用 10件														
		③	クラウドファンディング(アグリビジネス)活用 1件														
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆保証料などを補助する。【青森県経営安定化サポート資金災害復旧枠に係る利子補給事業・中小企業経営安定化支援事業・むつ市小規模事業者経営改善資金利子補給事業】</p> <p>◆高齢者の能力を活かした就労機会の確保をサポートする。【高齢者職業能力開発事業】</p> <p>◆商工業者の振興やイベントのサポート、空き店舗家賃補助などを行う。【むつ商工会議所補助金・むつ商工会補助金】</p> <p>◆アグリビジネスの観点からクラウドファンディングを活用した商品開発や販路拡大、6次産業化への支援を行う。【「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業(アグリビジネス事業)】</p> <p>◆まちゼミにより商店街活性化を支援する。【創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業(商店街活性化・まちゼミ)】</p>															
		年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
			①	計画	創業相談ルームなどを活用した創業相談の実施												
			②	計画	創業融資利子補給金の活用												
			③	計画	アグリビジネスに係るクラウドファンディングの広報活動												

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局		
	施策項目	(2)産業・雇用											経済部、企画部		
	施策内容	③エネルギー関連産業の育成													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		関連誘致企業数					-					2社			
		第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数					15人(H28年度)					20人			
現状と課題		<p>地域の特性を活かしながら、再生可能エネルギーを利用する関連産業の振興を図る必要がある。 また、関根地区において使用済燃料中間貯蔵施設の操業が予定されており、下北半島には多くのエネルギー関連施設が所在していることから、新たな雇用機会の拡大や地域産業全体を活性化するため、国のエネルギー政策への協力及び人材の育成を図る必要がある。</p>													
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	青森県「あおり産業立地フェア」(東京・名古屋)でのPR時の相談件数 3件						①	首都圏、中京圏への企業に直接PRする機会となるため、後のエネルギー関連産業の相談、誘致実現につながる。						
	②	第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数 16人						②	受講者数の増加による受験者数と合格者の増加が見込まれ、人材育成、人材確保及び雇用創出につながる。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆(財)電源地域振興センターの「企業誘致支援サービス事業」を活用し、県協議会等と連携を図りながら企業誘致を推進するとともに、既存誘致企業に対する優遇制度を実施し、フォローアップを継続する。【企業誘致推進事業】</p> <p>◆市民の太陽光発電システム導入を支援することで、再生可能エネルギーの導入を推進する。【太陽の恵み基金事業】</p> <p>◆市民への原子力に対する知識の普及を図る。【原子力広報調査対策事業】</p> <p>◆地熱資源開発に取り組み、新たな産業の創造を図る。【燧岳周辺地域地熱開発理解促進事業】【燧岳周辺地域地熱開発ポテンシャル調査事業】</p> <p>◆次世代を担う高校生の第2種放射線取扱主任者試験合格をサポートする。【次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト(人材育成推進事業)】</p>													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	エネルギー関連企業の誘致広報活動												
										あおり産業立地フェアへの参加					
	②	計画	第2種放射線取扱主任者研修												
						募集広報活動									
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局		
	施策項目	(2)産業・雇用											経済部		
	施策内容	④新たな産業の創出													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		誘致企業数(累計)					8社					10社			
		創業件数					7件/年(H27年度)					18件/年			
現状と課題		<p>本市の産業別就業人口は、第3次産業の占める割合が最も高く、更に増加傾向にある。業種の偏りは産業振興の妨げとなり、経済の停滞、閉塞を招くことになりかねないため、高付加価値型の先端産業や、社会ニーズの広がりに対応したサービスなど、地域に貢献する新たな産業群を創出し、持続性のある安定した経済成長を実現していく必要がある。</p>													
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容					
		①	企業誘致相談件数 5件						①	企業からの相談の増加は、本市での立地に興味がある企業の増加を意味し、企業ニーズを把握しながら支援策の充実を図ることで、企業誘致の実現へとつながる。					
		②	創業件数 20件						②	創業が実現されることで、地域経済の活性化及び雇用創出につながる。					
		③							③						
(主要事業)	平成29年度の主な取組	<p>◆(財)電源地域振興センターの「企業誘致支援サービス事業」を活用し、県協議会等と連携を図りながら企業誘致を推進するとともに、既存誘致企業に対する優遇制度を実施し、フォローアップを継続する。【企業誘致推進事業】</p> <p>◆下北地域広域創業支援計画に基づき、支援機関と連携しながら、ワンストップ相談窓口、創業セミナー、創業塾及び創業相談ルームを実施する。【創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業(創業支援事業)】</p> <p>◆創業セミナー、創業塾及び創業相談ルーム等を活用できない創業希望者に対し、どこにいても創業に必要な知識を身に付けられるeラーニングによる創業支援を実施する。【創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業(創業支援事業)】</p> <p>◆金融機関と連携して、下北地域ビジネスプランコンテストを開催し、新たなビジネスの創出を支援する。【創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業(創業支援事業)】</p>													
		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		①	計画	企業誘致支援サービスを活用し、企業誘致を推進											
											あおり 産業立地 フェアへの 参加				
②	計画	相談窓口、創業相談ルームの実施													
		eラーニング開始	創業セミナー の実施	創業塾の実施	創業セ ミナー の実施	ビジネス プラン コンテ ストの 開催					創業塾の実施			創業セ ミナー の実施	
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局					
	施策項目	②産業・雇用											企画部					
	施策内容	⑤若者の地元就職の促進																
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値					目標値(H33年度)					
		本施策を通じた市内への就職者数(累計)						-					10人					
現状と課題		<p>大学や就職先等に恵まれない本市は、高校を卒業する世代の転出が顕著であり、これは大学等を卒業する世代の転入をはるかに上回り、社会減が深刻となっている。</p> <p>このような中、本市は、県内での就職や起業支援、未来を担う人財の育成及び雇用創出を目的とした「青森COC+推進機構」に参画し、県内大学や県内企業等と連携・協力し、大学生等の地元就職率の向上と雇用創出に取り組んでいるが、本市への就職をどのように増やしていくかが課題である。</p>																
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容						達成時の効果	No.	内容							
		①	インターンシップ受入者数 20人							①	市内事業所がインターンシップ生を受け入れることで、会社の魅力をPRするとともに、大学生にとって市内企業への就職につながる可能性が高まる。							
		②	大学への企業紹介件数 20件							②	多くの学生に対して市内企業を紹介することにより、市内就職につながる可能性が高まる。							
		③								③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆県内大学と市内企業が連携し、業界研究セミナー(企業説明会)を開催するとともに、市内企業におけるインターンシップに係る費用を学生に対し助成する。【オール青森雇用創出連携プロジェクト事業】</p>																
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
		①	計画	補助要綱作成	周知					インターンシップ受け入れ							実績報告	
		②	計画		訪問企業調整					企業見学会	学生企画企業調査「SCENE」での企業紹介						企業説明会	
		③	計画															

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上										施策関係部局			
	施策項目	(3)市民協働・コミュニティ										企画部			
	施策内容	①市民協働の施策展開													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		市民協働のプレイヤー数					30人(H28年度)					60人			
		市民協働の取組の満足度					3.36点(H26年度)					4点			
		市民協働の取組の重要度					3.71点(H26年度)					4点			
現状と課題		<p>社会構造や財政状況の変化、市民ニーズや価値観の多様化に伴い、複雑化している地域課題に柔軟に対応するためには、市民・各種団体・行政などの多様な主体が公共・公益の視点から連携する市民協働のまちづくりが必要である。そのため、市民委員で構成する「むつ市市民協働まちづくり会議」での意見を踏まえ策定した、今後の市民協働の進め方を示す「市民協働指針」に基づき、各種取組を行っている。</p> <p>更に市民協働の施策を展開していくためには、たくさんの市民が無理なく協働する機会を生み出す仕組みを構築することが課題である。</p>													
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					No.	内容							
	①	市民協働のプレイヤー数 40人 (各種WSにおけるファシリテーター)					①	まちづくりについてのワークショップ等でファシリテーターを務められるような、まちづくりに対して造詣が深く熱意のある人材を発掘・育成することで、市民主体の協働のまちづくりが推進される。							
	②	会議参加人数 200人 (ご近所知恵出し会議・コミュニティデザイン出張授業・まちづくりコーディネーター主催事業他)					②	より多くの市民が、まちづくりに関わる会議やワークショップ等に参加することによって、市全体の市民協働への気運が高まる。							
	③						③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆市民協働まちづくりコーディネーターとともに、市の課題を市民協働で解決するアプローチをし、その過程で住民同士のつながりを育み、市民協働の気運を高める。【市民協働まちづくりコーディネーター事業】</p> <p>◆東北芸術工科大学のコミュニティデザイン出張授業を活用し、市内高校生を対象としたワークショップを実施する。【コミュニティデザイン出張授業事業】</p> <p>◆地域の問題について地域住民自らが考え、取り組む気運を醸成するため、町内会等の地縁団体を主体にワークショップを開催する。【ご近所知恵出し会議プロモーション事業】</p>													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画		まちづくり コーディネーター 委嘱	ミーティ ング・希望の まちづくり 補助金審 査会	ミーティング・コーディネーターによる事業								まとめ	
	②	計画				コミュ ニティ デザ イン出 張 授 業									
	③	計画	ご近所知恵出し会議（知恵出しの必要なネタに合わせて、年2回開催予定）												

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局		
	施策項目	(3)市民協働・コミュニティ											企画部		
	施策内容	②多様な市民活動の支援													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		FAAVOLもきたチャレンジ件数					5件/年(H28年度)					10件/年			
現状と課題	<p>市民が地域の課題を見出し、主体的に取り組む市民活動は、市民協働のまちづくりにおいて重要な取組である。市民活動団体やNPO法人等による社会貢献意欲が高まっている中、それぞれの特性を活かしつつ、より質の高い市民活動を促進するため、市民及び市民活動団体同士のつながりを生み出すなど、スキルアップするための支援のあり方が求められている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	FAAVOLもきたチャレンジ件数7件						①	地域を盛り上げるような夢やアイデアを持つ方々が新たな取組に積極的にチャレンジすることで、地域の活性化が図られる。また、ファンディング実施の過程においても、地域の大きなプロモーションとなる。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆地域を盛り上げる新しいアイデアや夢を持つ方々が資金面で諦めることなくチャレンジできるよう、新たな資金調達の場合を提供することで夢の実現を応援する。【FAAVOLもきた運営事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	運営協議会総会	プロジェクトの掘り起こし → ファンディング実施の支援 → 実績報告											
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局		
	施策項目	(3)市民協働・コミュニティ											企画部		
	施策内容	③広報広聴の充実													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		むつ市公式ホームページの閲覧者数					210万アクセス(H27年度)					310万アクセス			
		むつ市公式フェイスブックの「いいね！」の数					1,700(H28年3月末)					4,000			
現状と課題		<p>本市においては、開かれた市政の実現のため、平成25年7月から公式フェイスブックの運用を開始し、平成26年10月に広報紙をリニューアル、平成27年2月には公式ホームページをリニューアルして利用者の利便性の向上を図った。しかしながら、情報通信技術の急速な進展や行政ニーズの多様化が顕著なため、市民にとって、よりわかりやすく、興味を持たせるような広報活動の質の向上が課題である。</p>													
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容										達成時の効果		
		①	公式ホームページの年間アクセス数 213万件												
		②	公式フェイスブックの「いいね！」の数 2,083件												
		③													
(主要事業)	平成29年度の主な取組	<p>◆市民へ行政情報を直接発信するため、広報むつ及び公式ホームページ等の各種広報媒体の連携を図り、広報のより一層の充実に努める。【広報誌発行事業・むつ市ホームページシステム保守業務委託事業】</p> <p>◆市民へ報道機関を通じて各種情報を伝えるため、プレスリリースを活用した広報活動を実施する。【プレスリリース】</p> <p>◆広範な市域へ情報を伝えることが可能なエフエムアジュール(FMむつ)を活用し、市民が様々な媒体から行政情報を得られるよう広報活動を実施する。【エフエムむつ放送業務委託事業・エフエムむつ放送エリア拡大補助金】</p>													
		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		①	計画	年度更新	ページ構成検討			ページ作成			更新			更新	
		②	計画	写真更新				更新			更新			更新	
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局						
	施策項目	(3)市民協働・コミュニティ											企画部						
	施策内容	④コミュニティ自治の実現																	
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値					目標値(H33年度)						
		町内会加入率						65.1%(H27年度)					66.8%						
		市民満足度調査における地域コミュニティ活動の満足度						3.31点(H26年度)					4点						
		市民満足度調査における地域コミュニティ活動の重要度						3.77点(H26年度)					4点						
現状と課題		<p>日常生活の中に多種多様な情報があふれ、恵まれた物質社会の恩恵に浸り、日々の生活が豊かになるとともに、ライフスタイルや趣味、趣向が多様化する一方、核家族化や少子高齢化が進み、近隣関係、人と人、世代と世代の交流の絆が年々希薄になってきている。また、防災、防犯等の観点から、「自助」「公助」とともに地域のコミュニティの「共助」の大切さがクローズアップされている。今後、子どもからお年寄りまで、誰もが自由に楽しくいきいきとコミュニティ活動に参加できる住みよい地域社会づくりを推進するため、市民自らが積極的に参加できるコミュニティ自治の実現を図ることが課題となっている。</p>																	
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容										
	①	町内会加入率 66.0%						①	町内会への加入率の上昇は、コミュニティ自治の基盤づくりに直結するものであり、地域住民が主体的に地域の課題を掘り起こし、解決に向けて一丸となって取り組むための機運が醸成される。										
	②							②											
	③							③											
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を支援し、もって住民福祉の向上を図り市民協働及び市民自治のまちづくりを推進するため、町内会等が行う自主的な市民活動の実施及び活動拠点の整備に要する経費について、町内会等に対し、補助金を交付する。【地域コミュニティ保全事業】</p> <p>◆コミュニティ組織(自治会、町内会等)が活動するための備品や集会施設の整備を行うことで、地域におけるコミュニティ活動を推進し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図る。【コミュニティ助成事業】</p>																		
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
	①	計画			各町内会からの申請受付及び交付決定	事業実施 → 事業完了次第、随時、実績報告及び確定通知													
	②	計画																	
	③	計画																	

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局			
	施策項目	(4)男女共同参画・女性活躍											企画部			
	施策内容	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		市の女性管理職の割合					13.9%(H27年度)					15.0%				
		審議会・各種委員会女性委員の割合					21.9%(H27年度)					30.0%				
現状と課題		本市の男女共同参画社会実現に向けた取組は、平成25年度から新たに「第2次男女共同参画推進基本計画」のもと、なお一層の推進を図っている。個人の考え方や価値観に「気付き」をもたらすことや、そのためのアクションは非常にデリケートであり、様々な取組の中に男女共同参画の視点を取り入れながら、粘り強く地道に継続していく必要がある。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	市の女性管理職の割合 14.0%						①	市における女性の管理職への登用が増加し、割合が向上すること及びそのことを広く住民にPRしていくことで、男女共同参画社会の啓発・推進につながる。							
	②	審議会・各種委員会における女性委員の割合 24.0%						②	審議会・各種委員会における女性委員が増加し、割合が向上することで、市の各種施策等に対する意見聴取・決定の場における男女共同参画が促進される。							
	③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		◆男女共同参画社会の実現を目指し、住民の意識改革やそれに伴う具体的な行動を促すような啓発活動を行うとともに、むつ市男女共同参画推進委員会の運営により、男女共同参画基本計画や啓発方法等について調査・審議する。【男女共同参画推進事業】														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		①	計画			男女共同参画週間	委員会開催					委員会開催				
		②	計画			男女共同参画週間	委員会開催					委員会開催				
		③	計画													

施策シート

区分	基本方針	1. 元気の向上											施策関係部局		
	施策項目	(4)男女共同参画・女性活躍											企画部		
	施策内容	②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)	指標名		基準値					目標値(H33年度)							
	男性職員の育児休業取得率		0%(H27年度)					5%							
	男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率		53.8%(H27年度)					75.0%							
	職員の年間時間外勤務時間		111.9時間/人(H27年度)					100時間/人							
	女性活躍推進事業所の認定数		-					5件							
	女性活躍推進法特定事業主行動計画における数値目標達成率		-					100%							
現状と課題	<p>昨今の少子高齢化に伴い女性活躍の推進が求められる中、「女性活躍推進法」が制定された。男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画できる社会を実現するためには、女性のみならず男性の働き方等も含めて、個人の意識や社会の体制を変革し、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを実現することが不可欠である。</p> <p>性別にかかわらず、互いに尊重し支え合う意識を持つとともに、個人のニーズに対応した多様な生き方の選択・実現を可能にする環境の整備が必要である。</p>														
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容										達成時の効果		
		①	市の男性職員の育児休業取得率 1%												
		②	男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率 55%												
		③	職員の年間時間外勤務時間 109時間												
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆市民一人ひとりの意識の醸成のため、広報誌やホームページ等、様々な媒体を活用し、啓発活動を行う。</p> <p>◆女性活躍推進企業認定制度を創設し、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの実現に向けて積極的に取り組む企業・事業所を認定する。【女性活躍推進企業認定事業】</p>														
	年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①		計画	啓発活動												
			女性活躍推進企業認定制度の創設						対象企業の認定						
②		計画	啓発活動												
			女性活躍推進企業認定制度の創設						対象企業の認定						
③		計画	啓発活動												
	女性活躍推進企業認定制度の創設						対象企業の認定								

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部		
	施策内容	①子どもすこやか母子保健の充実													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)	指標名		基準値									目標値(H33年度)			
	育児について相談相手のいる母親の割合(1歳6か月児)		96.4%(H24年度)									100%			
	子育てに自信の持てない母親の割合(1歳6か月児)		21.5%(H24年度)									18%			
	乳幼児健康診査受診率(1歳6か月児)		96.9%(H26年度)									100%			
現状と課題	<p>核家族化や地域のつながりの希薄化により、妊産婦やその家族を支える力が弱くなり、母親が子育てに対して不安を抱いている傾向がある。母親が子育て不安を感じることで、子どもの心身の成長・発達に大きな影響を与えることとなり、更に育児困難につながる。そのため、妊娠初期から適切なサポートが受けられ、安心して出産・育児ができるよう一貫したサービスを体系的に提供し、きめ細かな母子保健の充実に努める必要がある。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容						達成時の効果	No.	内容					
	①	育児について相談相手のいる母親の割合(1歳6か月児) 100%							①	同世代の母親同士や行政担当者に気軽に相談し悩みや不安を解消することで、子どもの成長を楽しみながら子育てすることができるようになる。					
	②	子育てに自信の持てない母親の割合(1歳6か月児) 18%							②	各種母子保健事業に参加することで、正しい知識を得て、育児不安や悩みを解消することができ、自信をもって育児ができるようになる。					
	③	乳幼児健康診査受診率(1歳6か月児) 100%							③	対象月齢に応じた子どもの発育や発達を確認することで、子どもの健やかな成長を実感することができる。					
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆母子保健法に基づき、各種「健康診査」「教室」「家庭訪問」等を実施する。 ・「健康診査」～妊婦健康診査、乳児健康診査、10か月児健診(市独自事業)、1歳6か月児健康診査、2歳児健診(市独自事業)、3歳児健康診査、精密検査 ・「教室」～ハローベビー教室、離乳食教室、赤ちゃん教室、すくすく赤ちゃん計測&相談、乳幼児発達支援事業、元気教室 ・「家庭訪問」～ハイリスク妊産婦訪問、産婦・新生児訪問、未熟児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	各種健診、教室等の際、アンケート実施・回収											アンケート集計	
	②	計画	各種健診、教室等の際、アンケート実施・回収											アンケート集計	
③	計画	10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児健診 各々毎月実施													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部			
	施策内容	②一人ひとりの健康づくりの推進														
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		肥満者の割合(壮年期)					男38.7%、女29.7% (H23年度)					男25%、女20%				
		特定健診受診率					25.2%(H26年度)					37.5%				
現状と課題		<p>平成22年市区町村別生命表によると、本市の平均寿命は、全国で男性ワースト8位、女性ワースト16位と非常に低い水準となっており、生活習慣病発症リスクの高い喫煙・肥満・運動不足等の数値が全国に比べ高い傾向にある。これを改善するためには、市民一人ひとりが主体的に心身の健康づくりや疾病予防に取り組むことが必要である。また、こころの健康についても、気軽に相談することができ、行政のみならず地域での助け合いの体制づくりが必要である。</p>														
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容										達成時の効果			
		①	ヘルシーバランス弁当の普及2,520食													
		②	特定健診受診率 32%													
		③	がん検診受診率(胃 14%、大腸 10%、肺 10%、乳 10%、子宮 20%)													
(主要事業)	平成29年度の主な取組	<p>◆新作レシピの開発、製造業者の開拓も継続して行いつつ、事業者や町内会の会合等団体での購入を推進するため、レシピ配付などPR活動を行う。【ヘルシーバランス弁当普及事業】</p> <p>◆特定健診受診率向上のため、未受診者への受診勧奨、コールセンターの活用、個別健診実施医療機関への受診勧奨用ポスターの掲示を行うとともに、集団検診会場を増設する。【特定健康診査事業】</p> <p>◆がん検診受診率向上のため、集団検診の回数を増加するとともに、「40歳のがん検診推進事業(無料)」(市独自)を継続し、併せて、広報むつや健診PRマンガの配布などPR活動を強化する。【健診事業】</p>														
		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		①	計画	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食	210食
		②	計画	受診希望ハガキ受付	コールセンターより電話勧奨						封書で再勧奨			受診勧奨ハガキ送付		
③	計画	40歳無料検診対象者に個別通知	子宮・乳がん検診チラシ配布 (母子保健事業にて)			未受診者再通知・広報むつ記事		イベント等でPR								

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部			
	施策内容	③健康まちづくりの推進														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値					目標値(H33年度)			
		生活習慣の改善に意欲がある人の割合						54.8% (H27年度国保データベース)					69%			
		すこやかサポート事業所認定数(累計)						12事業所(H28.10月現在)					40事業所			
現状と課題		<p>平成22年市区町村別生命表によると、本市の平均寿命は、全国で男性ワースト8位、女性ワースト16位と非常に低い水準となっており、生活習慣病発症リスクの高い喫煙・肥満・運動不足等の数値が全国に比べ高い傾向にある。健康の保持増進は、個人の健康意識への働きかけも大事だが、社会全体で取り組む必要もある。そのため、町内会、地区組織団体や保健福祉医療関係者との協働により、地域全体の健康意識の向上と健康なまちづくりを一体的に推進していく体制づくりの強化が望まれている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容						No.	内容							
	①	健康マイレージ事業(むつ☆健康マイレージ及びむつ☆Walker)達成者 合計800人						①	健康づくりを習慣化する市民が増えることにより、健康づくりの気運が醸成される。長期的には、健康づくりをする人が多数派を占めるようになり、社会全体として生活習慣病にかかる割合が減少していくことが期待される。							
	②	すこやかサポート事業所認定数 新規15事業所						②	事業所単位で、健康づくりに取り組むことにより、現役世代の健康保持につながる。そのような事業所が増えていくことにより、社会全体としての健康づくりの気運が醸成される。							
	③	「健やか隊員」の育成 新規40人						③	現役世代に正しい健康教養を身につけたリーダーを育成することにより、事業所等での効果的な健康づくりにつなげていくことが期待される。							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆家族チャレンジに替え、「こどもチャレンジ」を新設し、学校を通じてチャレンジシートを配付しPRする。また、大型スーパー等に対し、マイレージカード特典が得られる協賛店としての協力を依頼する。加えて、ウォーキングアプリでは、魅力的なチャレンジを設定し、利用者の増加を目指す。【健康マイレージ事業】</p> <p>◆協会けんぽ等と連携し、事業所への普及・啓発に努める。【すこやかサポート事業所認定事業】</p> <p>◆健やか力推進センターや青森県と連携し、「健やか隊員」育成プログラムを実施し、新規健康リーダー育成を図る。なお、「健やか隊員」にはフォローアップ研修を行うとともに、「実践補助金」により自主活動を促進する。【健康リーダー育成事業】</p>														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①	計画	オープニングイベント	児童生徒にチャレンジシート配付	以降随時PR、協賛店依頼					景品抽選達成者400人				チャレンジ終了	景品抽選達成者800人		
②	計画		協会けんぽ等と連携しPR					累計8事業所						累計15事業所		
③	計画		実践補助金申請 随時募集				育成プログラム実施					フォローアップ研修				

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部 教育委員会事務局		
	施策内容	④医療体制の充実													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		市内高等学校からの医学部医学科入学者数					—					3人			
現状と課題		本市においては、高齢化等に伴い、医療機能の適正化が求められる中、医師等の医療スタッフの不足が慢性化しており、限られた医療資源の有効的な活用が課題となっている。専門的な医療を提供する中核病院が本来担う役割に支障を来さぬよう、患者の生活に密着した「かかりつけ医」の利用を推進する必要がある。また、将来の地域医療を確保するため、地元から医師を目指す人材の育成が必要である。													
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容					
		①	医学部就学助成金交付対象者2人						①	市内高等学校から医学部医学科へ進学する者に対し、一定額の助成金を交付することで、地元へ定着する医師の増加が期待され、本市はもとより、下北地域の深刻な医師不足解消の一助になる。					
		②							②						
		③							③						
平成29年度の主な取組 (主要事業)		◆広報むつ及びホームページの周知に加え、市内の高等学校及び中学校へのチラシの配布などにより、今年度は助成金(医学部修学助成金)対象者2人を目標に7月末を目処に募集し、8月には交付・決定する。また、平成30年1月から次年度分の周知に努め、4月から募集する。【次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト(未来人財育成奨学金プロジェクト)】													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画		助成希望者の募集 (広報むつ、ホームページ、チラシ等)			決定・ 交付 2人					次年度の周知 (広報むつ等)			
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局	
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部	
	施策内容	⑤児童福祉の充実												
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)		
		保育所等利用待機児童数					49人(H27年度)					0人		
		生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業					訪問率99%(H27年度)					訪問率100%		
現状と課題		<p>人口減少と少子化の原因として、晩婚化の進行や出生率の低下が挙げられるが、経済的なことによる共働きの増加により、子育てと仕事の両立に対する心理的負担感や拘束感の増大、さらには、育児に親族や近隣の支援が受けにくくなっていることも要因と考えられる。</p> <p>育児に対する不安を解消するためには、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、全ての子育て家庭を支援していくことが必要である。</p> <p>そのためには、放課後対策を含め、多様な保育サービスの充実や子育てに伴う経済的な負担の軽減、家庭における子育ての心理的負担の軽減など、子育て環境の整備・充実を図っていくことが必要である。</p>												
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容										達成時の効果	
		①	保育施設の増改築への補助金交付保育施設 1箇所											
		②	訪問員による生後4か月までの乳児家庭全戸訪問対象乳児 約400人											
		③	「子育て応援メールむつ」の配信登録者数 300人											
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	①	計画	協議	交付申請	交付決定		着工	完成	入所開始					
	②	計画	対象世帯とスケジュール調整を行いながら実施する。											
	③	計画	登録者 現在数 200人	子育て応援プロジェクトチーム 会議開催 新規登録者 20人			新規登録者 20人	新規登録者 20人	新規登録者 20人	新規登録者 20人				
平成29年度 (主要事業)	<p>◆国の平成29年度保育所等整備交付金に係る協議を行った後、交付申請手続きを行い、交付決定後速やかなる増改築の実施により、3歳未満児の定員を増やし、年度中途から増加傾向にある待機児童の減少を図る。【むつ市民間保育所施設整備費補助金】</p> <p>◆対象世帯に対して、事業の趣旨・内容を丁寧に説明して、訪問率100%を目指す。【生後4か月までの全戸訪問事業】</p> <p>◆平成29年2月1日に開始した「子育て応援メールむつ」のメール登録者に対して、子育て支援情報・イベント情報を各担当課より提供・発信するとともに、ポスター等で子育て世代に知らせていくことで、配信登録者数の増を図る。【ムチュ☆らんど運営事業(キッズパーク運営事業)】</p>													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部		
	施策内容	⑥高齢者福祉の充実													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値				目標値(H33年度)			
		要介護認定率						県平均値				県平均値を下回る			
現状と課題		<p>本市の65歳以上の高齢者人口は年々増え続け、平成28年4月1日現在では、17,734人となり、高齢化率は29.5%である。今後、一人暮らしや高齢者夫婦世帯、認知症高齢者の増加とともに、介護を必要とする高齢者が増える中、高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して生活することができる地域社会を築くことが課題である。介護保険制度の円滑な運営や、在宅での生活が困難な高齢者のための施設サービスの充実、そして、在宅高齢者が自立し、住み慣れた地域で自分らしい生活を確立するために必要な生活支援などに努めていく必要がある。</p>													
(アウトカム目標)	No.	内容						達成時の効果	No.	内容					
	①	住民主体の通いの場の数 3か所 (1か所増加)							①	参加者の体力増進につながる。参加者同士が交流することで、地域づくりにつながる。周囲への影響としては、住民主体の介護予防活動へ取り組む気運が高まる。					
	②	認知症サポーター養成人数 400人							②	認知症サポーターの増加により、在宅高齢者が自立した生活を確立するために必要な生活支援体制促進の理解を地域で深めていくことができ、住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができる。					
	③	認知症サポート事業所数 11か所 (6か所増加)							③	認知症サポート事業所の増加により、地域で認知症の人及びその家族を温かく見守ることができ、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。					
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆住民主体の通いの場は、町内会等が主体となって行う「いきいき百歳体操」を取り入れた通いの場や高齢者サロンとする。新規会場の立ち上げ支援を行い、継続会場は定期的に体力測定等の継続的な開催支援を行う。【一般介護予防事業】</p> <p>◆交通機関や新聞、ガス会社等これまでの見守り事業協定事業者にもサポーター養成講座の受講勧奨を行い、認知症サポーター及び認知症サポート事業所の数を増やしていく。【認知症サポーター等養成事業】【家族介護支援事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	住民主体の通いの場(いきいき百歳体操)の説明会を開催												
			新規立ち上げ支援 1か所	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援	継続開催支援
	②	計画		35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	40人	40人	40人
③	計画		1事業所		1事業所		1事業所		1事業所		1事業所		1事業所	1事業所	

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部			
	施策内容	⑦障害者福祉の充実														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		委託相談事業所数					3事業所(H27年度)					4事業所				
		グループホーム利用者数					66人(H27年度)					76人				
現状と課題		<p>障がいのある方が、障がいの重さや心身の状態に応じて受けられる障害福祉サービスを提供し、障がいのある方の自立と社会参加の機会を確保するとともに、教育や就労などを充実させ、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるまちの実現を目指している。その中で、どのように地域生活の支援拠点を整備及び確保していくのかが今後の大きな課題となっている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会等の来場者 150人						①	幅広く広報し、障がいのある方だけでなく障がいのない方にも多数来場してもらうことにより、障がいに対する理解を促進することで、障がい者が自立し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりへとつながる。							
	②							②								
	③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会、各地区障がい福祉相談会及びふれあい福祉展等の相談コーナーで、来場者に対し障がいに対する理解を浸透させられるよう、心配や不安を抱えている方やその家族、また、障がいのない方の来場を増やせるような広報活動を行う。【障がい者に対する理解促進事業】</p>														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		①	計画				むつ養護学校説明会	大畑地区相談会	脇野沢地区相談会・自立支援協議会研修会	むつ地区相談会	川内地区相談会・ふれあい福祉展参加					
		②	計画													
		③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上												施策関係部局		
	施策項目	(1)健康・福祉												保健福祉部		
	施策内容	⑧地域福祉の充実														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値						目標値(H33年度)		
		少年指導員巡回回数						120回(平成27年度)						120回		
		民生委員・児童委員活動件数						40,149回(平成27年度)						43,884回		
現状と課題		<p>青少年による非行、犯罪、児童虐待等が社会問題化しており、防犯関係団体等による街頭指導や校外指導を行っているほか、幼児虐待に係る対応として、要保護児童等対策連絡協議会において支援に当たっている。</p> <p>また、民生委員・児童委員は、高齢者の見守りや子どもたちへの声掛けの実施、福祉に関する相談に応じて地域福祉の向上に努めている。</p> <p>子どもや家族に係る問題は複雑化・多様化しており、深刻化する前の早期の発見や対応、そして、きめ細やかな指導や支援が求められている。</p> <p>また、地域社会の安心な暮らしを確保するため、見守り強化など民生委員・児童委員活動の充実を図っていくことが必要である。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容						達成時の効果	No.	内容						
	①	少年指導員巡回回数 120回							①	少年指導員による街頭指導、校外指導を実施することで、青少年の非行防止と健全育成が図られる。						
	②	民生委員・児童委員活動件数 40,000回							②	高齢者の見守り活動や子ども達への声掛けなどの活動の増加により、高齢者の孤立化防止と子ども達の安全・安心の確保につながる。						
	③								③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆年間を通じて、土日・祝祭日に行う常時街頭指導及び月1度もしくは祭典時などの特別街頭指導を実施する。また、研修会等に参加し、知識・技術の習得等、少年指導員としての資質向上に努める。【少年センター運営事業】</p> <p>◆民生委員・児童委員には、活発に活動していただいているところであるが、平成28年度には活動件数が減少したところであり、ひとり暮らし高齢者等の訪問や子どもたちの登下校時の見守り活動について協力を依頼する。【民生委員活動事業】</p>														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		①	計画	通常8回 特別1回	通常8回 特別1回	通常8回 特別1回	通常9回 特別6回	通常6回 特別7回	通常8回 特別3回	通常9回 研修会	通常8回	通常8回 特別2回	通常8回 特別1回	通常8回 特別1回	通常8回 特別1回	
		②	計画	3,300回	3,300回	3,300回	3,300回	3,700回	3,300回	3,300回	3,300回	3,300回	3,300回	3,300回	3,300回	3,300回
		③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	(1)健康・福祉											保健福祉部			
	施策内容	⑨社会保障の充実														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		ケアプランチェック数					12件(H28年度)					24件				
		特定健診受診率					25.2%(H26年度)					37.5%				
		メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合					28.0%(H27年度)					25.5%				
		国民健康保険税の現年収納率					91.5%(H27年度)					92.7%				
現状と課題		<p>少子高齢化に伴う高齢者の人口増加は、介護サービスの利用増を招いており、介護保険制度の持続が困難な状況になってきている。そのため、適正な介護サービスの推進が必要となっており、その状況は国民健康保険及び後期高齢者の医療制度にも共通している。</p> <p>本市ではその打開策として、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査等の実施を行い、生活習慣病の予防・早期発見に努め、医療費の抑制に取り組む必要がある。</p>														
(アウトカム目標)	No.	内容						達成時の効果	No.	内容						
	①	ケアプラン点検実施件数 12件							①	介護給付について、不要なサービスが提供されていないか検証することにより、介護サービスの適正化が図られるほか、本事業の周知にもつながる。						
	②	特定健診受診率 29.5%							②	特定健診受診率の向上により、生活習慣病等の予防・早期発見が促進され、国民健康保険財政の健全化へとつながる。						
	③	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 27.5%							③	健康マイレージ事業を推進し、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合を減少させることにより、医療費の抑制へとつながる。						
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆認定調査のチェックやケアプラン及び住宅改修等の点検を行う。また、医療情報との突合や縦覧点検を実施し、該当者には介護給付費通知を発送し、抑制に努める。【介護給付費等費用適正化事業】</p> <p>◆受診率向上に効果がある、特定健診未受診者に対する電話勧奨を行う。加えて、集団検診や個別検診等の受診環境を整え、受診率向上を図る。【特定健康診査事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	①	計画	ケアプラン点検業務													
	②	計画	受診希望ハガキ受付				コールセンターより電話勧奨					封書で再勧奨				受診勧奨ハガキ送付
③	計画	オープニングイベント	児童生徒にチャレンジシート配付	以降随時PR、協賛店依頼					景品抽選達成者400人				チャレンジ終了	景品抽選達成者800人		

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(2)スポーツ											民生部		
	施策内容	①スポーツ活動の充実													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		週1回以上のスポーツ実施率					38.1%(H23年度)					65.0%			
		年間利用人数(新体育館)					29,541人(H24年度)					80,000人			
現状 と 課題	<p>平成26年度に「むつ市スポーツ推進計画」及び「むつ市スポーツ施設整備計画」を策定し、誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに健康で、豊かな生活を実現できるよう努めている。一方、新体育館の設備や老朽化したスポーツ施設の改修及び類似スポーツ施設が複数存在していることから、統廃合も含めた活用を検討していく必要がある。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	スポーツ教室参加者数 3,100人						①	市民の健康で豊かなライフスタイル実現のため、スポーツイベントの開催等、スポーツ・レクリエーション活動を推進することで、スポーツ実施率の向上が図られる。						
	②	新体育館整備に係る事業スケジュールの達成						②	下北地域初の総合体育館の整備に向け、計画的に整備事業を進めることで、平成32年度の供用開始を実現し、市内におけるスポーツ環境の充実が早期に図られる。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆第23回ダイワハウス全国少年少女野球教室(5月)、平成29年度鹿島アントラーズサッカー教室(6月)、むつ下北少年野球ふれあい教室(12月)の開催等を通じて、子どもたちに、トップアスリートに触れる機会を提供する。【スポーツによる地域の元気づくり推進事業】</p> <p>◆むつ市新体育館実施設計のほか、電波障害調査及び費用対効果分析調査を実施する。【新体育館整備事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画		ダイワハウス野球教室	鹿島アントラーズ春のスポーツ教室	浜奥内海水浴			市民体育大会	少年サッカー教室	スキー&スノーボード各種教室		市民スキー大会		
	②	計画	基本設計完了	各種打合せ	各種打合せ	費用対効果分析完了	各種打合せ	各種打合せ	各種打合せ	各種打合せ	実施設計完了	各種打合せ	各種打合せ	各種打合せ	各種打合せ
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上										施策関係部局					
	施策項目	(3)環境										民生部					
	施策内容	①循環型社会の推進															
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)					
		二酸化炭素排出量					11,406 t-CO ₂					10,608 t-CO ₂					
		リサイクル率					25.0%(H26年度)					30.0%					
		もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率					生活系 可燃11%・不燃31% 事業系 可燃17%・不燃10% (H27年度)					各比率50%削減					
現状と課題		本市では環境型社会の実現と環境に優しいまちづくりを図るため、ごみの分別と減量化及び再資源化を推進しているが、ごみの減量化は全国水準に達しておらず、分別やリサイクル等を合わせた推進が今後の大きな課題である。															
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容								
	①	リサイクル率 25.2%						①	本市は農業・林業・畜産業・水産業が地域産業となっており、かつバイオマス資源が豊富に存在していることから、エネルギーへの変換や堆肥化することで、二酸化炭素排出量を抑え、地球温暖化の防止が図られる。								
	②	もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率 生活系 可燃9.2%・不燃25.8% 事業系 可燃14.2%・不燃8.3%						②	適切なごみの分別により、ごみ処理施設「アックス・グリーン」の維持管理費が抑えられ、市民の負担も軽減されることとなる。								
	③							③									
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆市指定ごみ袋に係る廃棄物手数料について、平成29年度からごみ種別毎に価格差を設け、ごみ処理に関わる経費等について市民に周知し、ごみ減量化の促進を図る。【市指定ごみ袋関連費】</p> <p>◆引き続き「段ボールコンポスト講習」を開催し、生ごみを堆肥化するなど、ごみの有効活用による減量に努める。【ごみ減量・リサイクル関係啓発事業】</p> <p>◆ごみの減量化は地球温暖化防止対策であることを市民に啓発するため、強化月間を定め、店頭にてチラシの配布をする。【ごみ減量・リサイクル関係啓発事業】</p>															
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①	計画	フリーマーケットイベント回収(小型家電・リユース可能な衣類)															
			段ボールコンポスト講習	減量・リサイクル強化月間													
				段ボールコンポスト講習													
②	計画	広報誌・HP・FM放送を活用した広報啓発活動															
			指定ごみ袋価格改定施行		啓発チラシ店頭配布 出前講座				事業系ごみ処理マニュアル配布								市指定ごみ袋価格改定効果検証
③	計画																

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(3)環境											下水道部		
	施策内容	②自然環境の保全													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名										基準値	目標値(H33年度)		
		親水護岸の整備延長										0m	1,000m		
		下水道整備普及率										16.8%	23.4%		
		海岸保全施設の整備延長										524m	750m		
		海岸清掃の実施回数										年4回	年5回		
現状と課題	<p>本市は、下北半島国定公園に指定された豊かな自然を有し、学術的にも貴重な動植物が多数生息する地域であり、森林や水質の保全に努めるとともに、ウォーキングなどの市民が憩う親水性の水辺空間の創出が必要となっている。</p> <p>また、海岸では、静穏な海流域は海水浴場として利用されているが、局地的に波浪による護岸の浸食や砂浜の流出により家屋への浸水被害が懸念されており、防災、環境、利用の面からバランスのとれた総合的な海岸の保全が求められている。</p> <p>このような環境を保全するためには、森林の役割が非常に重要となっているが、近年、林業採算性の悪化や森林所有者の高齢化、不在村化等を背景として、森林施業意欲が衰退し、荒廃する森林が増えつつあり、このままでは土砂災害の防止や水源の涵養、地球温暖化の防止等、自然環境の保全に支障を来しかねない状況が生じている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容						達成時の効果	No.	内容					
	①	下水道整備普及率 18.2%							①	普及率を上げることにより、生活排水による水環境汚染の低減につながる。					
	②								②						
	③								③						
平成29年度(主要事業)	◆中央、緑町、海老川町、下北町、柳町、大畑町上野地区の管渠工事を行う。【公共下水道整備事業】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画			工事発注	管渠整備工事								工事完成	
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(3)環境											民生部		
	施策内容	③公害対策の充実													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		典型7公害に係る相談件数					28件(H27年度)					0件			
現状 と 課題	<p>本市における公害の発生は少ないものの、騒音、悪臭等の生活に係る苦情については多様化している。 また、住宅密集地区の生活排水による河川の水質汚濁も懸念されるため、あらゆる形態に対しての公害対策の充実を図り、快適な環境づくりのための監視指導体制の強化に取り組む必要がある。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	典型7公害に係る相談件数 0件						①	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・震動・地盤沈下・悪臭の典型7公害を無くすることにより、安全で快適なまちが形成され、市民生活が明るく向上される。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆むつ市公害対策審議会を設置・運営し、公害発生時に対応する体制を整備する。【公害対策審議会運営事業】</p> <p>◆市民の各種相談に対応するため、今まで発生した事例や対応方法などの苦情相談シートを作成し、また、対応した事例を記録に残し職員間で共有することにより、市民からの苦情に素早く対応できる体制を整備する。【公害対策事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	苦情処理												
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上										施策関係部局			
	施策項目	(3)環境										民生部			
	施策内容	④環境衛生対策、廃棄物対策の充実													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		1人1日当たりのごみ排出量					1,180g(H26年度)					1,000g以下			
現状 と 課題	市民の家庭生活から排出されるごみは、全て下北地域広域行政事務組合が運営する一般廃棄物処理施設「アクセス・グリーン」に搬入し、溶融処分している。 同施設は、経年劣化による維持管理経費が構成市町村の大きな負担となっていることから、平成34年度をもって廃止とすることが決定し、現在、新しいごみ処理施設整備計画が進められている。 新しいごみ処理施設は、人口減少を考慮し、効率的かつコンパクトな身の丈に合った処理施設にする必要がある。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	1人1日当たりのごみ排出量 1,116g						①	ごみ処理問題を日頃から意識することで、適切な分別・リサイクル等につながり、ごみの減量化が推進され、環境に優しいまちの構築と市民の負担軽減が図られる。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆新しいごみ処理施設整備に合わせ、低コスト・高効率化を基本に、ごみ分別排出から処理処分までの一連の体制を見直すため、先進地や同規模の自治体の状況把握に努めるとともに、むつ市一般廃棄物処理基本計画の見直しを行う。【廃棄物減量等推進審議会運営事業】 ◆下北地域広域行政事務組合と連携し、アクセスグリーンへのダンボール箱によるごみ持ち込みを禁止とし、資源ごみとしての排出を促すとともに、ごみ搬入形態の見直しを実施する。【下北広域行政事務組合負担金】 ◆3R啓発活動【清掃関係事業(大掃除、じん芥処理)】【資源ごみ回収事業】【ごみ収集運搬事業】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	新しいごみ処理施設建設に向けて下北地域広域行政事務組合との連携・協議												
			市処理計画見直し					パプコメ実施		見直し計画答申					
	②	計画	アクセス・グリーンへのごみ搬入形態の見直し協議、小型家電ピックアップ回収												
		市民へ搬入方法変更の周知		3R啓発ごみ減量キャンペーン実施					資源ごみとしての排出方法の周知						
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上										施策関係部局				
	施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク										建設部				
	施策内容	①暮らしやすいまちの構築														
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		立地適正化計画居住誘導区域人口密度					43.9人/ha(H22年度)					43.9人/ha				
		公園利用者数(金谷・水源池)					35,000人(H27年度)					42,000人				
		汚水処理人口普及率					41.2%(H27年度)					49.9%				
現状と課題		<p>人口減少及び高齢化社会が進行する中、持続可能な都市経営、生活環境や子育て環境の維持向上、地球環境保全、地域コミュニティによる防災対策、安全・安心なまちづくりに対応していくことが必要である。そのため、人口密度を保ち、都市施設が集約され、経済活動の活性化が図られる都市構造の実現を官民連携により進めていくとしたコンパクトシティ構想によるまちづくりが重要となっている。</p> <p>こうした中、生活基盤となる住宅供給については、コンパクトなまちと連動して市営住宅の配置を効果的に進める必要がある。さらに、居住環境に潤いを与える都市公園や緑地施設、都市基盤である都市計画道路や下水道などの都市施設については、財政制約や施設の老朽化などに配慮した計画的な整備が必要となっている。</p> <p>また、雪国である本市での冬季における暮らしやすさの確保のため、快適な道路環境の維持・向上を図る必要がある。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	「北の防人大湊」FBの花・植栽に関して、「いいね」回数1,000件以上の獲得						①	水源池公園内にある多くの花、植栽の種類、開花状況、風景などの情報を4月から11月にかけて、きめ細かに情報発信し、多くの市民に関心を持ってもらうことで、来場者数の増加につながる。							
	②	汚水処理人口普及率 44.3%						②	浄化槽設置件数が増加することで、生活環境の維持向上につながる。							
	③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<ul style="list-style-type: none"> ◆浄化槽設置整備助成制度により水洗化意識の向上に向けた啓発活動を実施する。【浄化槽設置整備助成事業】 ◆コンパクトシティの形成、民間まちづくりの支援、官民連携の推進など、都市計画や関連制度を構築し、用途地域の見直しを行いながら、人口減少社会に合わせたまちづくりを推進する【都市政策の展開】 ◆人口減少による財政制約への対応を踏まえ、公園・緑地等の適正配置について緑の基本計画により定めることで、魅力ある公園緑地の維持・創出を図る。【緑の基本計画の推進】 ◆公園に設置されている遊具等の施設は、昭和40年～50年に整備されたもので、老朽化により改修が必要となっており、生活者の視点に立った公園施設の安全性の確保等、都市公園における安全・安心対策事業を実施する。【公園施設長寿命化対策事業】 														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		①	計画			累計 600回			累計 800回		累計 1,000回					
		②	計画	浄化槽設置整備助成												
		③														

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク											企画部、建設部		
	施策内容	②計画的な土地の管理及び利用の促進													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		立地適正化計画居住誘導区域人口密度					43.9人/ha(H22年度)					43.9人/ha			
現状 と 課題	市土は、将来にわたって市民のための限られた資源であるとともに、生活や生産などの基盤となる。人口減少が進行する中で、郊外への宅地造成により市街地の拡大や、中心市街地の空洞化による商業や医療機能等の低下が懸念されており、公共性を優先しながらも、地域の独自性に配慮した総合的かつ計画的な土地の利用が求められている。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	土地取引現況調査実施回数 4回						①	定期的に土地利用の状況調査を実施することで、公正な土地取引の推進とむつ市国土利用計画に沿った土地利用が図られる。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆土地取引届出に基づく現地の状況調査を実施する。【土地取引関連事業】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画		事前準備	現況調査		事前準備	現況調査		事前準備	現況調査		事前準備	現況調査	
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク											建設部			
	施策内容	③道路基盤の整備														
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		下北半島縦貫道路整備率					29%(H27年度)					42%				
		横迎町中央2号線整備事業進捗率					11.8%(H27年度)					100%				
		市道舗装率					71.8%(H27年度)					75%				
現状と課題		<p>広大な行政区域を持つ本市は、各地域間の距離が長く、一体感及び連帯感の醸成のため、道路整備による距離感及び隔絶感の解消が重要である。</p> <p>しかし、市内の各拠点を結ぶ主要幹線道路である国道279号、338号は急カーブや狭隘箇所が多く、通行の安全性が危惧されるほか、土砂崩れにより通行不能になった場合には、地域の孤立化が懸念されることから、国土強靱化地域計画に位置付けられた都市計画道路でもある「下北半島縦貫道路」をはじめとする国・県道のより一層の整備促進が求められている。また、市道については、路線数も多いことから、幹線はもとより一般生活道路に至るまで未整備路線が多く、市民生活の利便性及び道路上の安全を確保するため、計画的な整備が求められている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	市道舗装率(むつ地区) 90.16%						①	市道の舗装が向上することで、市民生活の利便性及び道路上の安全の確保が図られる。							
	②	横迎町中央2号線整備事業進捗率 59.1%						②	田名部中心市街地、本庁舎、中央地区及びおおみなと臨海公園をネットワークで結ばれることで、都市拠点の機能強化と安全・安心なまちの形成が図られる。							
	③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<ul style="list-style-type: none"> ◆大平町地区道路整備工事 L=120m、中央二丁目地区道路整備工事 L=82m、浜通線消融雪溝実施設計1式【道路整備事業】 ◆道路改良工事(下層路盤) L=530m、用地買収A=3,515㎡、物件移転補償家屋1棟他【横迎町中央2号線整備事業】 ◆カーブミラー設置1基、区画線設置L=20km【特定交通安全施設整備事業】 ◆荒川橋橋梁掛替工事1式、大橋測量設計業務委託1式【橋梁長寿命化修繕事業】 ◆連絡3号線融雪施設設置工事【大湊地区坂道対策事業】 ◆下北停車場線舗装補修工事【道路ストック総点検事業】 ◆兔沢・関根橋線道路整備工事【道路整備事業】 														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		①	計画									90.16%				
		②	計画	補償・用地買収・測量・工事												
		③	計画													

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク											企画部		
	施策内容	④公共交通の確保													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)	指標名						基準値						目標値(H33年度)		
	大畑地区デマンド型乗合タクシー年間輸送者数						235人(H27年度)						235人		
	廃止路線代替バス年間輸送者数(湯野川線)						2,221人(H27年対象期間)						2,221人		
	廃止路線代替バス年間輸送者数(九艘泊線)						2,219人(H27年対象期間)						2,219人		
	廃止路線代替バス年間輸送者数(源藤城線)						1,999人(H27年対象期間)						1,999人		
現状 と 課題	<p>公共交通の利用者は、人口減少及びモータリゼーションの進展により減少の一途をたどっている。それにより、交通事業者の収支状況は厳しさを増し、路線の維持が困難となっている。</p> <p>公共交通の維持確保については、行政や交通事業者はもちろんのこと、地域全体が力を合わせて取り組む必要がある。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容						達成時の効果	No.	内容					
	①	輸送者数の維持(前年度比)							①	利用者が(輸送者)数が維持されることで、今後における公共交通の維持、住民の交通手段の確保につながり、住民生活の利便性向上に寄与する。					
	②	広報紙、ホームページによる広報							②	デマンドタクシー及び廃止路線代替バスの現況を広報紙、ホームページを通じて公表することで、公共交通に対する地域住民の関心が高まる。					
	③								③						
平成29年度の 主要事業	<p>◆各交通事業者との定期的なヒアリングを通じて、状況把握のほか今後の公共交通の在り方について検討を加える。【地域公共交通確保維持改善事業費等補助金】</p> <p>◆デマンドタクシー及び廃止路線代替バスの現況を広報紙やホームページを通じて公表することで、地域住民の公共交通に対する関心の向上を図る。【廃止路線代替バス運行対策事業】【デマンド型乗合タクシー運行事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画			ヒアリング			ヒアリング			ヒアリング			ヒアリング	
	②	計画			ホームページ掲載										
	③	計画			広報紙掲載										

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク											企画部		
	施策内容	⑤広域交通ネットワークの形成													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)	指標名						基準値						目標値(H33年度)		
	下北半島縦貫道路整備率						29%(H27年度)						42%		
	「快速しもきた」一日あたりの往復便数(八戸)						4便(H28.3)						4便		
	「快速しもきた」一日あたりの往復便数(青森)						1便(H28.3)						2便		
現状と課題	<p>道路交通網は、国道279号と国道338号に大きく依存しており、当該路線は単路線のため代替機能を有していないため、「下北半島縦貫道路」の一日も早い完成と国道2路線の改良・整備が望まれている。</p> <p>JR大湊線は、風規制の緩和及び安全対策工事が施され、強風による運休は大幅に減少したが、一層の利便性の向上及び利用者数の増加が課題となっている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	国・県に対する要請活動 2回						①	国、県に対し、「下北半島縦貫道路」の早期完成を訴えることで、道路整備の進捗向上が図られる。						
	②	JR東日本に対する要請活動 1回						②	加盟している青森県鉄道整備促進期成会を通じて、JR東日本に対する要請活動を行うことで、便数の維持及び増加が図られる。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆国、県、国会議員等に対する要請活動を実施する。【協議会等負担金】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画			要請活動	要請活動									
	②	計画						要請活動							

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上		施策関係部局										
	施策項目	(5)行財政基盤		総務部、民生部										
	施策内容	①効率的な行政運営												
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)	指標名		基準値		目標値(H33年度)									
	職員の年間時間外勤務時間		111.9時間/人(H27年度)		100.0時間/人									
	職員数(普通会計ベース)		451人(H27年度)		443人									
	窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合		80.4%(H27年度)		90.0%									
	職員提案の提案件数		10件/年(H28年度)		15件/年									
現状と課題	少子高齢化をはじめとする社会情勢の変化や市民ニーズの多様化により、行政サービスの変革が求められているほか、厳しい財政状況など数多くの課題が山積している。													
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容		No.	内容									
	①	行政改革大綱の策定		①	市民のニーズや意識の変化を的確に把握し、市民目線での行政活動やコストはどうあるべきかを考え、効率的な行政運営を推進することで、市民満足度の向上に寄与する。									
	②	窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合 82%		②	職員に求められる意識と能力向上に資するため、窓口アンケートの実施や「おもてなし規格認証」登録を実施することで、市民から信頼され共に協働できる職員の育成が図られる。 窓口サービス専門員及び窓口アシスタントを配置し、窓口業務における多様な住民ニーズに対応したサービスを提供することで、来庁者の満足度の向上が図られる。									
	③	職員提案の提案件数 11件/年		③	職員の提案を広く市政運営に採用することで、市行政の効率的な運営及び総合的なサービスの向上と、職員の市行政に対する参画意識の高揚及び職員の資質の向上に寄与する。									
	④	むつ市職員行動指針による取組計画の達成度の割合 80%以上		④	職員一人ひとりが目的意識を再認識し、年代や部署の垣根を越えたコミュニケーションが活性化することで、職員としての資質を高め、市民に信頼される職員の育成とともに、組織としての「質」の向上が図られる。									
(主要事業) 平成29年度の主な取組	◆平成29年度中に(仮称)第6次行政改革大綱を策定する。【行政改革の推進】 ◆おもてなし規格認証取得のため、所管課長による規格項目ごとの採点評価を定期的に行い、職員の資質向上を目指す。また、総合経営計画の指標でもある「窓口アンケート結果の満足・やや満足の割合」の向上についても、アンケート結果に反映されるよう取り組み、目標値の達成を目指す。【職員の資質向上】 ◆平成28年度は正職員のみによる月一度の勉強会を開催していたが、本年度は参加者を窓口サービス専門員まで広げ、疑問点の解消や留意点の協議を行う。【窓口サービス向上事業】 ◆職員提案推進月間を6月とするとともに、随時募集についても職員に周知していく。また、テーマを絞って職員提案を募集することなどで、件数の増を目指す。【職員提案の推進】 ◆むつ市職員行動指針による6つの心がけを基に月間目標を設定し、達成度の測定、検証を行う。また、職員評価制度による目標設定や指導育成面談などを通じ、職員一人ひとりの能力を向上させ、組織力の向上を図る。さらには、メンター制度の導入により、コミュニケーションの活性化や新採用職員の早期適応、支援する先輩職員の資質向上を目指す。【働き方改革】													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	①	計画		基本方針検討	行革推進本部会議	検討部会で大綱案策定	検討部会による見直し		審議会①	審議会②～⑤	答申	3月議会へ行政報告		
	②	計画	おもてなし認証取得	勉強会										
			2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	③	計画		推進月間	テーマ検討	テーマ別募集								
④	計画	むつ市職員行動指針による取組計画(達成度:「よくできた」と「できた」の割合)												
		挨拶	身だしなみ			事業の見直し			整理整頓		笑顔と思いやり		自己を見直す	
		達成度 80%以上	達成度 80%以上			達成度 80%以上			達成度 80%以上		達成度 80%以上		達成度 80%以上	
		職員評価制度												
		目標設定面談	目標達成に向けた取組									自己評価面談評価	評価のフィードバック	
		メンター制度												
		メンター選任	メンタリング実施										結果報告	

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局		
	施策項目	⑤行財政基盤											財務部		
	施策内容	②財政の健全化													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		経常収支比率					96.6%(H27年度決算)					94.9%			
		財政調整基金年度末残高					2.1億円(H27年度)					10億円			
現状と課題		<p>財政運営における課題として、普通交付税の合併特例加算の段階的減少、大畑診療所資金不足解消、むつ総合病院債務負担行為履行、国民健康保険特別会計累積赤字解消のための多額の負担が挙げられる。効率的な行財政運営を行うため、納税者の理解の下、「公平かつ適正な課税」を念頭に置きつつ「効率的かつ効果的な徴収対策」を講じ、安定的な自主財源を確保する必要がある。</p>													
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	市税徴収率(全体) 94.25% ・個人市民税徴収率 98.80% ・固定資産税徴収率 98.50%						①	徴収率向上は必須の財源確保対策であり、口座振替の推進、コンビニ収納の充実等、納税機会の拡大を意図した税収確保対策を展開することで、市税全体の徴収率の底上げが図られる。						
	②	財政調整基金年度末残高 1.4億円増額						②	財政調整基金残高の着実な増額を図ることで、財政収支の悪化及び財政構造の硬直化が懸念されている現状が改善される。また、長期債繰上償還を推進しつつ、財政運営上の諸課題に対応することで、将来世代に負担を先送りしない持続可能な財政運営の確立が図られる。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<ul style="list-style-type: none"> ◆口座振替の推進、コンビニ収納に係る税目の拡充等、納税機会の拡大を意図した税収確保対策を展開し、市税全体の徴収率の底上げを図る。【市税徴収率の向上】 ◆基金繰替運用による公債費負担の低減により一般財源を確保する。【財政健全化事業】 ◆特定防衛施設周辺整備調整交付金[基金造成事業]のソフト事業充当により一般財源を確保する。【財政健全化事業】 ◆過疎対策事業債、合併特例債等、より有利な財源の活用により一般財源を確保する。【財政健全化事業】 													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	夜間、休日における徴収強化												
	動産差押及びインターネット公売														
	不動産及び債権差押の強化														
②	計画	基金繰替運用による公債費負担の低減													
基金繰替運用による一般会計の一時借入金抑制															
より有利な財源の活用による一般財源確保															
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	⑤行財政基盤											企画部			
	施策内容	③広域行政の推進														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		下北圏域定住自立圏連携事業数					24事業(H28年度)					29事業				
現状 と 課題	人口減少や少子高齢化が進行する中、下北圏域定住自立圏を形成し、圏域の生活機能の確保と地域活性化の取組を進めているが、今後更なる進行が見込まれる人口減少・少子高齢化や、厳しい財政状況、そして、多様化・高度化する住民ニーズに対応するため、今まで以上に広域連携を推進し、それぞれの市町村の特性を活かした効率的で質の高い行政運営が求められている。															
(アウटकーム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	下北圏域定住自立圏連携事業新規事業1件						①	下北地域全域に関係する事業を新たに構築し、連携・協力しながら効果的に展開することで、圏域全体の活性化へとつながる。							
	②							②								
	③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆下北圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を活用したPDCAサイクルの運用により、下北圏域定住自立圏共生ビジョンに基づく広域連携事業の効果的かつ効率的推進を図る。【下北圏域定住自立圏推進事業】															
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	①	計画	下北圏域共生ビジョンに基づき、圏域全体の活性化に向けた取組を推進													
					担当課 長会議	共生 ビジョン 懇談会		市町村 長会議				市議会(協 定内容変 更議案)				
	②	計画														
③	計画															

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局	
	施策項目	⑤行財政基盤											財務部	
	施策内容	④公共施設マネジメントの推進												
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)		
		公共施設の総量					329,971.56㎡					305,100㎡		
現状 と 課題	<p>本市は、市町村合併などを経て機能が類似する施設や相当数の道路や橋梁等の公共施設等を保有しており、施設の総量が類似団体に比べ過剰な状況にある。また、これらの公共施設等の中には、老朽化が著しい施設も多数あることから、維持管理費及び改修費等がかさみ財政運営の負担となっている。</p> <p>更には、人口減少や少子高齢化に伴う社会的な必要性の変化や災害対策、環境への配慮などにも対応していく必要があることから、適切な公共施設等の規模や配置及びサービスの内容、維持管理費用及び更新等費用の縮減、財政負担の平準化や品質の保持・向上が課題となっている。</p>													
(アウटकーム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の 効果	No.	内容					
	①	普通財産の解体 3件(287㎡)						①	老朽化が著しく、今後の利活用が見込めない学校等を解体することで、公共施設総量と維持管理費の縮減及び景観の向上が図られる。					
	②	教育財産の解体 3件(2,502㎡)						②	老朽化が著しく、今後の利活用が見込めない学校等を解体することで、公共施設総量と維持管理費の縮減及び景観の向上が図られる。					
	③							③						
平成29年度の 主要事業	<p>◆ 6月： 関根中学校教員住宅の解体(49㎡)【教員住宅解体事業】</p> <p>◆ 9月： 脇野沢庁舎本村倉庫の解体(69㎡)【脇野沢庁舎本村倉庫解体事業】</p> <p>◆ 9月： 旧近川教員住宅の解体(149㎡)【旧近川教員住宅解体事業】</p> <p>◆ 10月： 旧戸沢教員住宅の解体(69㎡)【旧戸沢教員住宅解体事業】 旧戸沢小学校の解体(711㎡)【小学校施設等解体事業】 旧角違小中学校の解体(1,742㎡)【小学校施設等解体事業】</p> <p>●解体数合計 6件 ●面積合計 2,789㎡</p>													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	①	計画						解体2件 218㎡	解体1件 69㎡					
	②	計画			解体1件 49㎡				解体2件 2,453㎡					
	③	計画												

施策シート

区分	基本方針	2. 暮らしの向上											施策関係部局			
	施策項目	(5)行財政基盤											総務部			
	施策内容	⑤情報ネットワークの利活用の推進														
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名						基準値						目標値(H33年度)		
		Wi-Fi設備施設数						5施設(H28年度)						85施設		
現状と課題	情報通信ネットワークの進展に伴い、情報システムの利用が進んできていることから、セキュリティ基盤の強化、個人情報の管理、アプリケーションの提供方法等、新たな仕組みづくりに対応するため、ICTサポートの充実や地域ICTリーダーの育成とインフラ整備が課題である。															
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	個人情報保護コースの全職員の修了率 80%						①	全ての職員の個人情報保護に係る知識の習得と意識の向上が図られる。							
	②	新採用職員及び業務システム利用職員の情報セキュリティコースの修了率 100%						②	職員の情報セキュリティに関する基礎知識の習得を通じて、情報資産の取扱い方法等、セキュリティ対策の向上が図られる。							
	③	専門知識コース受講職員数 20人以上						③	多くの職員がより専門的で高度な研修を修了することで、情報セキュリティ及び情報資産運用に係るリーダー育成につながる。							
平成29年度 (主要事業)	※平成29年度はインフラ整備に先立ち、職員等のICT知識向上を図るため、研修を拡大し、人材育成への足がかりとする。 ◆個人情報保護コースは全職員の参加を必須とし、受講修了率の向上を目指す。(平成28年度は、業務システム利用者は必須であったが、他の職員は積極的な参加。) 【ICTリーダー育成事業】 ◆情報セキュリティコースは新採用職員及び業務システム利用職員を必須とし、他の職員の積極的な参加を促しながら、全員の受講修了を目指す。 【ICTリーダー育成事業】 ◆専門知識コースの紹介により、受講者を募り、前年度(20人)以上の積極的な参加を目指す。 【ICTリーダー育成事業】															
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	①	計画				申込 625人	受講					受講 修了				
	②	計画				申込 370人	受講					受講 修了				
	③	計画				申込 20人	受講					受講 修了				

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上										施策関係部局												
	施策項目	(1)教育										教育委員会事務局												
	施策内容	①学力の向上																						
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)												
		教科に関する調査(全国学力・学習状況調査)					全国平均値					全ての教科において全国平均値を3割上回る												
		青森県学習状況調査					県平均値					県平均値を3割上回る												
現状と課題	<p>全国学力・学習状況調査や青森県学習状況調査の結果によると、本市の児童生徒は基礎的・基本的知識・技能は全国や県の平均正答率を上回るが、その活用に関しては全国平均に届いていない。思考力・判断力・表現力の育成、学習意欲や学習習慣など主体的に学ぶ力の育成に向けた取組が課題となっている。</p>																							
(アウトカム目標)	年次目標	No.	内容										達成時の効果	No.	内容									
		①	春と秋の市内小中学校訪問 22校(市内全小中学校)											①	春と秋に市内小中学校22校全てを訪問し、教育委員会の方針を十分に浸透させることで、各学校の教育力がより一層高まる。									
		②	県平均通過率を上回る(小5・中2)											②	本市はもとより、下北地域の児童生徒の学力向上が期待される。									
		③	NIEに関する児童生徒アンケートのA評価の割合 80%以上											③	NIEを継続することで、文字への慣れ親しみや学習意欲が高められ、読解力や表現力等が身に付き、しっかりとした考えを持つ大人に成長するものと期待される。									
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆各校の課題や取組について支援するため、本年1月に指導の方針と重点に係る説明会と研修会を開催し、4月には説明冊子の発行と配付をした上で、学校訪問等を行い、学校教育の充実を図る。【指導の方針と重点に関する指導・支援事業】</p> <p>◆学力調査の実施と分析を行い、実態を踏まえ、学力の向上と教師の指導力の向上を図る。また、学力向上のために、講師を招いて学力調査の分析に係る研修会を実施し、併せて、問題の半数程度が活用型の問題であることから、活用型の問題集を作成する。【学力向上推進事業】</p> <p>◆小中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身につけるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内全ての小学校の5年生以上及び中学校全学年の各学級(特別支援学級を含む)に1部ずつ新聞を配備する。併せて、活用のガイドブックを各校に配備し、担当職員を対象とした研修会を開催するとともに、児童生徒のアンケートを行う。【新聞を活用した学習への支援事業】</p>																							
	年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
		①	計画	説明冊子の発行・配布	春の小中学校訪問(22校)							秋の小中学校訪問(22校)												
②		計画	学力調査実施				分析に係る研修会							活用形問題集の提示										
③	計画	購読紙の申込受付					教員向け研修会	購読紙の変更の有無の確認						児童生徒アンケート調査										

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上										施策関係部局			
	施策項目	(1)教育										教育委員会事務局			
	施策内容	②体育・健康教育の充実													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		肥満傾向児の出現率					県平均値					県平均値を下回る			
		体力テストの結果					県平均値					県平均値を上回る			
現状と課題	<p>学校保健統計調査によると、本市の児童生徒の肥満傾向児の出現率が全国や県平均を上回る状況が続いている。また、体力テストの結果を見ても、県平均より低い種目が少なくない。各種健康課題への対応だけでなく、安全・防災教育についても、学校・保護者・地域が連携した取組が課題となっている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	学校危機管理マニュアルの作成						①	児童生徒が自ら安全に関する情報をもとに正しく判断し、安全に行動ができるとともに、学校、家庭、地域が連携して、児童生徒の安全確保に向け連携がスムーズにできる。						
	②	健康教育の授業実施校 4校						②	正しい食生活などの健康教育により、下北地域の課題とされている児童生徒の肥満傾向の解消にもつながるものとする。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆児童生徒等の安全を確保するため、危機等発生時において教職員が取るべき行動の具体化内容及び手順を定めた「危機管理マニュアル」の改訂版を作成し、市内小中学校に配布する。【学校危機管理マニュアル策定事業】</p> <p>◆社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、本市の健康課題の解決に向けた系統的な授業モデルと推進体制の構築に取り組む。また、健康教育の授業を市内小中学校4校で実施し、その成果をもとに指導事例集(報告書)を作成する。【「健康の未来を変える授業プロジェクト」】</p>														
	年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①		計画			マニュアル策定会議(校長会代表、関係機関など)			各校の担当者対象の説明会					マニュアル作成	各小中学校配布	
②		計画				健康教育の授業(大平小・田名部中)					健康教育の授業(川内小)	健康教育の授業(近川中)	指導事例集(報告書)の作成		
③		計画													

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上											施策関係部局																
	施策項目	(1)教育											教育委員会事務局																
	施策内容	③夢を育む教育																											
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)																	
		夢や目標の肯定的回答率(全国学力・学習状況調査)					全国平均値					全国平均値を5割上回る																	
		教科に関する調査(全国学力・学習状況調査)					全国平均値					全ての教科において全国平均値を3割上回る																	
現状と課題		<p>全国学力・学習状況調査によると、将来の夢や目標を持っていると回答している児童は全国とほぼ同じ約70%、生徒は全国よりやや高い約77%となっている。しかし、夢や希望のための基盤となる、学力、キャリア教育、多様な学習機会の提供等が課題となっている。</p>																											
(アウトカム目標)	年次目標	No.			内容											達成時の効果													
	①	いじめ解消率 90%			達成時の効果											①			いじめが減少することで、学校生活が明るく楽しいものとなり、豊かな心が生まれ、将来の夢や目標に向けての学習に集中できる。										
	②	全国学力・学習状況調査質問紙調査の実施														②			将来に夢や目標を持つ児童生徒の数が常に全国を上回る。										
	③	ジュニア大使派遣人数 10人														③			国際交流を通じて国際的な感覚と視野に富んだ人材を育成することができる。										
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆児童生徒に対し、生徒指導検査(学校環境適応感尺度「アセス」)を実施・分析し、児童生徒の理解に努め、むつ市いじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、その結果を公表する。また、「いじめ問題対策委員会」を開催し、いじめ防止対策について見直しを行う。【生徒指導推進事業】</p> <p>◆市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルズ市に派遣し、現地中学校において、まちづくりに関する意見交換や授業の参加などを行う。また、ポートエンジェルズ市滞在中はホームステイを行い、アメリカの一般家庭における交流も行う。【ジュニア大使派遣事業】</p>																											
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
		①	計画			いじめ問題対策委員会						いじめ防止宣言フォーラム(近川中)																	
		生徒指導検査アセス(年2~3回実施(原則は学期ごとであるが、学校によって回数異なる))の実施・分析・公表																											
		②	計画	調査の実施						結果発表																			
③	計画		ジュニア大使の応募	面接・選考					・事前研修7回 ・12月:結団式					ジュニア大使派遣・報告会・事後研修															

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)教育											教育委員会事務局		
	施策内容	④地域とともにある学校													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名								基準値			目標値(H33年度)		
		開かれた学校づくりに係る意識調査(学校関係者評価)を実施し、その結果を踏まえて学校運営の改善に取り組んだ割合								54.5% (H27年度)			100%		
現状と課題	少子高齢化、情報化等の社会の変化に伴い、地域での人のつながり意識や支え合いが希薄化していると言われている。家庭や地域の教育力の向上や、地域の活性化のために、地域の未来を担う人財の育成や地域を維持する基盤整備が大きな課題となっている。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容						達成時の効果	No.	内容					
	①	こども議会傍聴者数 20人							①	本市の実情をこども議会を通じて児童生徒に少しでも興味・関心を持ってもらえる。					
	②	ジオパーク体験活動参加校数 22校(市内全小中学校)							②	豊かな自然や地域に根ざした文化や伝統等の地域資源について学び、地域への愛着と誇りを育むことができる。					
	③								③						
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆本市の次代を担う小・中学生が議会の体験を通して、市政と議会の仕組みを理解し、次代を担う市民として自覚を深めることができるようにする。また、市の抱える課題等について、少しでも理解してもらうため、実際の市議会を各校の代表(今年度は中学生)に傍聴してもらう。【むつ市こども議会事業】 ◆ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。【ジオパーク体験活動推進事業】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画				担当者会議		市議会傍聴	一般質問の検討	こども議会本会議			報告書完成		
	②	計画	申請	ジオパーク体験活動の実施										事業終了報告書提出	
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)教育											教育委員会事務局		
	施策内容	⑤社会教育の充実													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		公民館・図書館利用者数					178,897人(H27年度)					181,000人			
		主催事業参加者数(公民館・図書館・生涯学習課)					17,688人(H27年度)					18,522人			
		各団体・各サークル利用者数(公民館・図書館)					29,693人(H27年度)					31,025人			
現状と課題	<p>社会情勢が目まぐるしく変化する現代において、多様化する地域住民の学習ニーズに応えるため、多岐にわたる学習機会の提供、学習相談体制の充実、学習・交流の場となる施設機能の充実が必要である。また、地域住民がより良い暮らしを送るため、直面する地域の課題について学習し、実際に課題解決する場面を増やす必要がある。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	川島雄三シンポジウム参加者数 35人						①	本市出身の映画監督である川島雄三氏が平成30年2月に生誕100年を迎え、その記念事業を行うことにより、国内で高評価を得、根強い支持を持つ川島氏の生誕の地としての認知度向上、文化創造都市としてのイメージアップと市民に愛着を持ってもらえることができる。						
	②	自然観察会参加者人数 延べ80人 生涯学習講演会参加人数 延べ100人 文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展参加者数 150人						②	生涯を通じて学習することで、豊かで活気のある生活を送ることができる。						
	③	公開講座参加者数 631人						③	市民の学習意欲の促進が図られ、講座を受講した市民が地域の指導者となり、市内各地での活躍が期待される。						
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆今年度は「映画監督川島雄三を偲ぶ会」を中心に、図書館、公民館、生涯学習課が加わって「(仮称)映画監督川島雄三生誕100年記念事業実行委員会」を立ち上げ、市を挙げて展開していく。【映画監督川島雄三生誕100年記念事業】</p> <p>◆四季折々のふるさとの豊かな自然や、本市の新たな魅力の発見を目的とする自然観察会を開催するほか、各種講座や展示を実施し、市民の総合的な生涯学習を支援するとともに、意識啓発を図る。【生涯学習事業】</p> <p>◆市民の多種多様化する学習ニーズに応え、生きがいの創造を促進し、「自ら学び 自ら運営する」ことを基本方針に、現代課題等の一般教養や専門的知識を学習する機会の提供を図る。また、市民の生涯学習及び社会参加活動に資することを目的に、「いつでも・どこでも・だれとでも参加できるむつ市民大学」とし、生涯学習社会の構築に努める。【むつ市民大学事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画			映画 上映 ※墓前 祭				公開講 座等で シンポ ジウム の宣伝	川島 シンポ ジウム 映画 上映			映画 上映		
	②	計画		自然 観察会	生涯 学習 講演会	生涯 学習 講演会	自然 観察会		自然 観察会	文化賞・ 文化 奨励賞 受賞者 紹介展		自然 観察会			
	③	計画		開講式 記念 講演	特別 記念 講演	公開 講座	施設 見学	公開 講座	公開 講座	公開 講座	公開 講座	公開 講座	公開 講座	閉講式 講演	

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上		施策関係部局											
	施策項目	(1)教育		教育委員会事務局											
	施策内容	⑥文化の充実・文化財の保存活用													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)	指標名		基準値		目標値(H33年度)										
	むつ市民文化祭入場者数		7,791人(H27年度)		10,000人										
	北の防人大湊ボランティアガイド認定数		—		20人										
現状 と 課題	<p>本市の無形文化財等の伝統文化は、価値観の多様化や人口減少の影響により、後世への継承が困難な状況にある。更に有形文化財の維持や芸術・文化への関心は決して高いとは言えない。</p> <p>このような状況の中、文化財を保存・活用し、地域活性化へつなげるためには、歴史・文化の記録と調査研究により市民の理解と関心を深め、住民一体となった活動を展開していくことが求められている。その核となる施設として、「歴史民俗資料館」の設置を検討し、併せて資料等の収集、整備保存をしていく必要がある。</p> <p>また、文化振興のため、優れた文化や芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに、市民の文化活動を支援することが求められている。</p>														
(アウトカム目標)	No.	内容		No.	内容										
	①	ボランティアガイド認定数 10人		①	多くのボランティアガイドを養成することで、水源地周辺の建造物の歴史や自然のほかジオサイト等、本市の魅力をより多くの観光客に伝えられ、また、こうした活動により、歴史や自然の大切さなど、後世への継承にもつながる。										
	②	むつ市文化祭入場者数 7,940人		②	市民が主体的に芸術や文化活動に取り組み、また、多くの市民がそれに触れることにより市の文化振興が図られる。										
平成29年度の主な取組 (主要事業)	③			③											
	<p>◆市民の文化活動やジオパーク活動の推進を図ることを目的とする施設「北の防人大湊 貳番館」の管理運営を行い、重要文化財旧大湊水源地水道施設とそれに関わる歴史、自然等を案内するためのボランティアガイドの拠点としてガイドの養成に取り組む。【石造建造物管理運営事業】</p> <p>◆文化振興事業を運営するための事務経費(市民文化祭開催経費)として、「むつ市文化団体協議会」に補助金を交付する。【文化振興一般管理事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	ガイドの募集	養成講座(全6回) ①、②、③ ④、⑤、⑥											
	②	計画								むつ市文化祭(下北文化会館)					
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	3. 教育の向上										施策関係部局			
	施策項目	(1)教育										企画部			
	施策内容	⑦むつサテライトキャンパスの推進													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		滞在型学習等による学生の受入数					296人(H28年度)					600人			
現状と課題	大学をはじめとした高等教育機関がない本市では、平成27年に弘前大学及び青森中央学院大学と共同で「むつサテライトキャンパス」を設置し、市内における教育機会の充実や地域活性化等に取り組んでいる。 市民ニーズに合った公開講座の開催や、学生や教員による本市をフィールドとした滞在型学習等を通じて、地域の課題解決や活性化へとつなげることが重要である。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	滞在型学習等による学生の受入数 350人						①	学生を受け入れることにより、若者の流れを作り、まちの賑わい創出につながる。また、学生達が本市を題材に学習・研究することにより、地域の課題解決や活性化へとつながる。						
	②	公開講座実施 10講座						②	公開講座の実施は、高等教育機関のない本市において、高いレベルの知識を市民に提供することで、市民の豊かな暮らしや地域振興につながる。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆弘前大学及び青森中央学院大学の学生が本市をフィールドとした滞在型学習を促進するため、移動手段や宿泊等について支援する。【次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト(むつサテライトキャンパス事業)】 ◆経営者向け講座、高校生向け講座、ジオパーク講座、食育健康講座、観光講座及び社会人向け講座を実施するとともに、その他に行われる講演会等の後援をする。【次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト(むつサテライトキャンパス事業)】 ◆弘前大学・青森中央学院大学の学生たちによる舞台パフォーマンスを中心としたミニ大学祭(むつサテライトキャンパス大学祭)を行う。【次代を担うプラチナ人財育成プロジェクト(むつサテライトキャンパス事業)】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	受入募集	受入調整	学生の受入										
	②	計画			経営者向け・弘前大学公開講座	ジオパーク・コミュニティデザイン出張授業	食育健康・社会人向け①	高校生向け・社会人向け②	弘前大学公開講座	観光講座					
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	4. 安全の向上											施策関係部局			
	施策項目	(1)安全・安心											総務部			
	施策内容	①防災対策の充実														
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		自主防災組織における世帯カバー率					15.8%(H27年度)					46.5%				
		地区防災計画作成率					0%(H27年度)					50%				
							64.6%(H28.1月)					95%				
現状と課題		東日本大震災以降、地震、津波、風水害などの度重なる自然災害により、国の防災指針が見直されており、それに基づいて防災対策の充実や防災体制の確立を図る必要がある。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容							
	①	自主防災組織の新規設立数8組織						①	地域住民が協力して日頃から訓練等に取り組むことにより、地域ぐるみの自主的な防災活動が推進され、地域防災力の向上につながる。							
	②	地区防災計画の新規作成数8地区						②	市民一人ひとりの防災知識の普及や防災意識の高揚が図られ、市民が防災及び減災の意識を持った災害に強いまちが形成される。							
	③	防災時等の情報伝達手段確立のための基本構想・基本計画策定着手						③	住民への情報伝達手段の多様化が図られることにより、災害に強いまちが形成される。							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		◆自主防災組織を新たに8組織設立を目指し、防災対策資機材の助成により、地域防災力の向上を図る。【消防団と連携した地域防災力向上推進事業】														
		◆町内会等に対する出前講座を積極的に活用し、自主防災組織の結成を促す。【むつ市出前講座事業】														
		◆消防団と連携し、既存の自主防災組織等による防災訓練等を実施することにより、防災知識の普及を図る。【消防団と連携した地域防災力向上推進事業】														
		◆町内会等に市総合防災訓練への参加を促し、防災意識の高揚を図る。【むつ市総合防災訓練事業】														
		◆津波発生時に緊急の情報伝達を要する浜関根地区の無線を整備するとともに、住民の情報伝達手段の多様化及び地域特性にあった情報伝達手段確立に係る基本構想・基本計画作成のため、各種相談事業を活用し先進地等の情報収集を図る。【防災行政用無線整備事業】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	基本構想・基本計画策定業務委託	
	①	計画	町内会等による自主防災組織の結成													
			出前講座	出前講座			出前講座			出前講座			出前講座			
	②	計画	町内会等による地区防災計画の作成													
			町内会等 防災訓練	町内会等 防災訓練			市総合 防災訓練			町内会等 防災訓練						
③	計画	防災行政用無線整備事業														
			相談 事業	実施設計業 務委託												

施策シート

区分	基本方針	4. 安全の向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)安全・安心											総務部		
	施策内容	②消防・救急体制の充実													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		消防団員充足率					81.7%(H27年度)					86%			
現状と課題		<p>本市の消防業務は、周辺市町村とともに下北地域広域行政事務組合を設置し、広域消防体制を築いている。また、消防団や地域ぐるみの防火運動を展開する防火協力団体といった、地域に密着した組織の災害時における役割が重要になっている。</p> <p>しかしながら、消防施設・設備の老朽化や、構成員の高齢化及び新規加入者減少に伴う、消防団員数や婦人防火クラブ数の減少が課題となっており、消防施設・設備の総合的かつ計画的な整備を図るとともに、地域に密着した団体の強化や充実、確保等が必要となっている。</p>													
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	消防団員充足率 81.8%						①	消防施設・設備の計画的な整備と併せて、消防団の充足率が向上することで、常備消防と消防団や防火協力団体、更には地域の自主防災組織と連携した活動が充実され、地域防災力の強化が図られる。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆むつ地区及び大畑地区の消防団車両を整備するとともに、広報紙やホームページ等のあらゆる媒体を通じて消防団への加入促進について周知徹底を図る。また、消防団に積極的に協力している事業所等を協力事業所として認定し、表示証を交付することにより消防団活動への理解、入団促進を図る。【消防団と連携した地域防災力向上推進事業】</p>													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	消防団員の加入促進												
			広報紙やホームページ等の媒体の活用及び各種イベント等を通じて消防団への加入促進について周知徹底を図る。												
	②	計画													
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	4. 安全の向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)安全・安心											公営企業局		
	施策内容	③水道の安全・安定供給の確保													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		水道基幹管路耐震化率					30% (H27年度)					36%			
現状と課題	本市の水道事業は、給水人口の減少や市民の節水意識の向上等により、経営の基盤となる料金収入が減少傾向であるが、老朽施設の整備、水質管理や危機管理体制の強化、災害に強い水道施設の構築、多様化する市民ニーズへの対応などの課題に適切に対処し、安全・安心な水道水の持続的な供給を図り、持続可能な経営基盤の確立に努める必要がある。														
年次目標 (アウトカム目標)	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	水道基幹管路耐震化率 34.4%						①	老朽管路を耐震管へ更新することにより、災害に強い水道の実現と、漏水等の解消による水道水の有効的な利用が図られる。						
	②	浄水施設耐震化率 48.9%						②	浄水場の統合・新設により、良質で安定的な配水が可能となるとともに、施設管理の省力化が図られる。また、浄水施設の耐震化により、災害に強い水道の強化が図られる。						
	③	配水池耐震化率 30.6%						③	配水池の統合・新設により、良質で安定的な配水が可能となるとともに、施設管理の省力化が図られる。また、配水池の耐震化により、災害に強い水道の強化が図られる。						
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<ul style="list-style-type: none"> ◆八木沢浄水場の給水を開始し、3浄水場を廃止する。 ◆永下浄水場非常用発電機設備更新、大畑浄水場機電改修、水管橋架替及び配水管布設替を実施し、災害に強い施設の構築と管路の耐震化を進める。【上水道整備事業】 ◆送水管布設替、老朽化配水管布設替及び水管橋架造を実施する。【水道管路緊急改善事業】 ◆八木沢配水場整備、配水管布設及び水管橋架造を実施する。【水道施設整備事業】 ◆継続事業以外の配水管布設及び布設替、水管橋架替等の工事を実施する。【建設改良事業(配水管整備事業等)】 														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画		契約事務	配水管布設及び布設替、水管橋架替									事業完了	
	②	計画			契約事務	八木沢浄水場整備、浄水場の廃止									事業完了
	③	計画			契約事務	配水場建設実施設計、配水池の廃止									事業完了

施策シート

区分	基本方針	4. 安全の向上											施策関係部局			
	施策項目	(1)安全・安心											民生部			
	施策内容	④交通安全の確保														
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)				
		交通事故死者数					4人 (H24~27年の 本市平均)					0人				
		交通災害共済加入率					45.7%(H27年度)					50%				
現状 と 課題		<p>本市の交通死亡事故は年々減少しているが、主に高齢者が犠牲となる事故が毎年発生している。交通ルールの遵守及び交通モラル等の向上を図るため、学校、家庭、職場等において、交通安全意識の普及啓発に努めることが必要である。また、交通安全設備の効果的な設置と管理も重要である。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の 効果	No.	内容							
	①	交通事故死者数 0人						①	交通事故防止、交通事故死者ゼロを目指し、交通安全関連団体と連携しながら効果的な活動を行うことで、安全・安心なまちづくりに寄与する。							
	②	交通災害共済加入率 46%						②	交通事故による被害者の救済体制が充実されることにより、住民の生活の安定と福祉の増進に寄与する。							
	③							③								
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<ul style="list-style-type: none"> ◆むつ市交通問題対策協議会や交通安全指導隊に対し補助金を交付するとともに、交通安全施設の設置及び改良等の要望受付や道路照明等の管理を行う。【一般交通安全事業】 ◆むつ地区小学校に交通整理員を配置するほか、新入学児童への黄色い安全帽の配布やむつ市交通安全母の会連合会に補助金を交付し、将来のむつ市を担う児童生徒達の交通安全対策を行う。【子ども達の交通安全事業】 ◆交通安全思想の普及徹底と正しい交通ルールの実践を図ることを目的に、むつ運動公園内に設置している交通広場を適切に管理し、交通安全の啓発に努める。【交通広場管理事業】 ◆交通災害共済加入率の青森県平均は約40%のため、本市は県平均を上回っているが、平成33年度の目標50%にむけ広報に努める。【交通災害共済事業】 														
年間スケジュール		No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
年間スケジュール		①	計画	交通安全パレード	通学路の交通安全会議	シートベルト等着用率向上むつ6月作戦	むつサマー作戦		秋の交通安全運動							
		②	計画									HPIにて周知開始	赤十字総会での加入説明	広報・ラジオでの周知		
		③	計画													

施策シート

区分	基本方針	4. 安全の向上											施策関係部局	
	施策項目	(1)安全・安心											保健福祉部	
	施策内容	⑤防犯対策の充実												
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)		
		通学路見守り活動登録人数					46人(H27年度)					260人		
現状と課題		<p>市民が安全に安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、警察や学校、関係団体と地域が一体となって防犯パトロールや広報・啓発活動、危険地域への立て看板設置等の活動を展開している。声掛け事案や不審者対策として、地域住民による通学路等見守り活動の推進により、児童・生徒の登下校時の安全・安心の確保に努めている。特殊詐欺など多様化する犯罪への取組強化のため、防犯活動の体制強化と市民の協力による全市政的かつ安定的な活動の充実が必要である。</p>												
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容					
	①	通学路見守り活動登録人数 140人						①	通学路見守り活動登録人数の増加に伴い、児童・生徒の登下校時の見守り活動が強化されることにより、声掛け事案などが起こりにくい環境が整備され、危険行為や犯罪の抑止につながる。					
	②							②						
	③							③						
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆防犯関係等各種団体の会議や広報誌などを活用して、通学路見守り活動について周知と理解に努め、「地域の子どもは地域で守る」意識の醸成と、登録・活動してくれる方々の増員を図り、児童・生徒の登下校時の見守りの強化を図る。【防犯活動に係る貸与事業】</p>												
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	①	計画		防犯協会総会	少年指導員総会	学校広報広報むつ				広報むつ				安全講習会の実施
	②	計画												
	③	計画												

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)ジオパーク											企画部		
	施策内容	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		年間観光入込客数					886,026人(H27年度)					1,000,000人			
		年間宿泊者数					168,330人(H27年度)					190,000人			
		下北ジオガイド認定数					0人(H28年度)					30人			
現状 と 課題	平成28年9月、下北ジオパークが日本ジオパークネットワークに加盟認定されたことで、国内外からの観光客の増加が見込まれる中、地域資源の価値を伝えるガイド員の養成や看板の設置、パンフレットなどを整備するとともに、来訪者のニーズを把握し、質の高い受入体制を整備するなどの必要がある。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	ジオパーク認知度の向上 60%						①	地域内外において、下北ジオパークの認知度が向上することで、交流人口の拡大や地域活性化が図られる。						
	②	ツアー実施回数 12回						②	しもきたTABIあしすと連携し、ツアーを実施することで、交流人口の増加や下北ジオパークのPRにもつながる。						
	③							③							
平成29年度の 主要事業	<p>◆下北ジオパークの知名度を高めるとともに、地域内外への売り込みやPRを行うため、16のジオサイトの訪問を目的とした周遊促進事業(スタンプラリー)や季刊誌の発行などを実施する。【下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業】</p> <p>◆下北ジオパークの根幹を支えるジオガイドの早期育成のため、ガイド養成カリキュラムに基づく講座をスタートさせ、年度内の育成を目指す。【ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業】</p> <p>◆日本ジオパーク地域であることを地域住民や来訪者に対し広報するため、ポスターやのぼり、ジオサイトの説明看板等の作製を行う。【ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業】</p> <p>◆しもきたTABIあしすと連携し、ジオツアーを実施する。【ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業】</p>														
	年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		①	計画						季刊誌 発行			季刊誌 発行			季刊誌 発行
		②	計画			ジオツアー実施									
③	計画			1回	2回	2回	2回	1回	1回	1回	1回	1回			

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局		
	施策項目	(1)ジオパーク											企画部		
	施策内容	②資源価値の保全と教育													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		市民の地域資源認知度					-					50%			
現状 と 課題	住民全体が自発的にジオパークに参画するボトムアップ型の活動を目指しているが、住民主体の活動がまだまだ少ない状況にある。資源の保全や教育、ツーリズムへの活用を通じて、全国に誇れるジオパーク活動の展開と持続可能な地域づくりを住民の誰もが気軽に楽しめる体制を整えていく必要がある。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の 効果	No.	内容						
	①	ジオパークサポーター登録者数 100人						①	住民がジオパーク活動に参加しやすい環境を整えることで、持続可能なジオパーク活動が展開される。						
	②	ジオパーク認定商品提供事業者数 3事業者						②	ストーリー性を持った商品が開発、提供されることにより、地域のブランド力が高まり、新たな顧客の確保へとつながる。						
	③							③							
平成29年度の 主要事業	<p>◆地域においてジオパークを積極的に活用している事業者等と連携し、地域住民や各種団体からジオパーク活動に参画しやすい環境整備を図り、下北ジオパークサポーターの会を組織し活動支援を行う。【ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業】</p> <p>◆住民主体の活動を推進するにあたり、市民・団体(任意団体を含む)及び企業から提案者自らが考え、企画した活動を募集し、下北ジオパーク認定商品等へつながる夢へのチャレンジを応援するため、必要な費用の一部を助成する。【下北ジオパーク夢実現プログラム】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画			募集										
					10人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	②	計画		募集		審査 決定	ジオパーク関連商品の開発						完成 3商品		
③	計画														

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局		
	施策項目	(2)観光・物産											経済部		
	施策内容	①広域連携による観光プロモーション													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		年間観光入込客数					886,026人(H27)					1,000,000人			
		年間宿泊者数					168,330人(H27)					190,000人			
現状と課題	<p>本市の観光客入込数は減少しており、国内観光客のみをターゲットとしていては増加が見込めないことから、インバウンド対策に注力する必要がある。特に函館空港を利用する海外観光客を本市及び下北に呼び込めるよう、ジオパーク等の自然や他地域との共同による魅力ある旅行商品の開発、宿泊業者等の海外観光客対応力の向上、青函連携を絡めた外国人観光客へのプロモーション強化が必要である。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	年間観光入込客数 920,000人						①	年間観光入込客数の増加により、地域内の消費等が促進され、地域経済の活性化につながる。						
	②	年間宿泊者数 176,000人						②	外国人観光客に対応できる飲食店・宿泊業者等育成のため、接客セミナー及びweb活用セミナーを開催することで、対応力の強化が図られることにより、宿泊客増につながり、滞在型観光による経済効果が期待できる。						
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆外国人観光客の誘客を促進するため、東北観光復興対策交付金を活用し、インバウンドセミナー開催等の事業を行う。【インバウンド対策事業】</p> <p>◆夢の平成号の新規観光ルートとして、イルカウォッチングコース及び鯛島上陸コースを新設し誘客を図る。【夢の平成号及び鯛島利活用整備事業】</p> <p>◆下北半島6自治体における観光振興の舵取り役を担う一般社団法人しもきたTABIあしすとへの会費及び負担金。【下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業(しもきたTABIあしすと負担金)】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画			旅行商品開発1本	旅行商品開発1本		誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催		
	②	計画						誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催	誘客セミナー等開催		
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局	
	施策項目	(2)観光・物産											経済部	
	施策内容	②稼げる物産プロモーション												
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)		
		新規取引件数					-					10件		
		産品購入意欲度(全国市町村魅力度ランキング)					167位/1,047自治体 (H28年度)					100位以内		
現状と課題		<p>本市の魅力である「安全・安心で豊かな食」について、これまでも市内外のイベントや各種宣伝媒体を活用しPRを行ってきましたが、全国的な認知は得られていない。</p> <p>また、少量生産と低単価により生産者の経営環境は不安定な状況にあり、付加価値を高めた市産品の生産と、産地間競争に貢献する地域ブランド力を高める取組が必要となっている。</p>												
(アウトカム目標)	No.	内容					達成時の効果	No.	内容					
	①	新規取引件数 10件						①	新たな販路が開拓されることで、本市特産品の売上が増大し、生産者の所得向上につながる。					
	②	産品購入意欲度 150位 (全国市町村魅力度ランキング)						②	本市特産品の認知度向上及び購入欲求が高まることで、本市特産品の売上が増大し、生産者の所得向上につながる。					
	③							③						
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆地域資源の高付加価値化と戦略的かつ効果的なプロモーションにより地域ブランド力の向上を図り、既存のマーケットにこだわることなく、客単価の高いホテルや飲食店など小規模でも安定した売上が見込める販路開拓を推進する。【「むつ市のうまいは日本一！」推進プロジェクト事業「全国販路開拓支援事業」】</p> <p>◆地産地消を積極的に推進するとともに、攻めの販路拡大策「地産外商」の推進とふるさと納税制度を活用し、市産品の消費拡大を図ります。【地産地消推進条例制定】【「むつ市のうまいは日本一！」推進プロジェクト事業(全国販路開拓事業を除く)】【ふるさと納税関連費】【北のプレミアム館新規出店事業】【スポーツ報知特別紙面折り込み事業】</p> <p>◆地域資源の魅力を磨き上げ、市全体の魅力度向上を図る。【べこもち&デコもちプロモーション事業】</p>												
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	①	計画						むつうまフェア(市内外)						
	②	計画			べこもち ①		べこもち ②	スポーツ報知	全国販路開拓事業	北プレ新規出店	地産地消イベント	べこもち ③	べこもち ④	べこもち ⑤
	③	計画												

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局		
	施策項目	(3)景観											建設部		
	施策内容	①景観の向上と保全													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		景観が良いと感じる割合					51.6%(H28年度)					62%			
現状 と 課題	<p>良好な景観形成により、街並み、地域資源及び観光地の魅力を向上し、ジオパークの景観を保全することで、市民が愛着を感じるまち、次世代につながるまちにしていきたいことが重要となっている。</p>														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	景観が良いと感じる割合 54%						①	良好な景観が形成されることにより、市民が愛着を感じる魅力あるまちづくりが推進される。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	<p>◆大湊の景観づくりに関するルールの普及に努める。また、景観行政団体への移行に向けた調査及び検討を行うとともに、景観計画の素案作成に取り組む。【景観まちづくり事業】</p>														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画								実施アンケートの 分析 景観重点地区の 検討				景観 計画 素案 作成	
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局		
	施策項目	(4)国際・都市間交流											企画部		
	施策内容	①諸地域との親善・友好													
基本計画における KPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		交流機会の回数					4回(H27年度)					6回			
現状 と 課題	国内外の姉妹都市や姉妹校をはじめとする各地域との盟約及び提携等により、教育、文化、科学、経済など様々な交流に取り組み、親善及び友好形成に努めているが、今後も、これまで以上に国内外の友好を深め、姉妹都市のつながりを双方の市民が実感できる交流とすることが求められている。														
(アウトカム目標) 年次目標	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	ムチュリンガル教室実施施設数 10施設						①	幼児の時からネイティブスピーカーによる英語に慣れ親しむことで、英語でのコミュニケーション能力の向上につながる。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)	◆国際交流推進員の増員により、国際理解啓発や地域の国際化を一層推進するとともに、ムチュリンガル教室正式プログラムを開始することで、英語教育を推進する。【国際交流事業】														
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	募集		採用 試験		正式プ ログラ ム開始								
	②	計画													
	③	計画													

施策シート

区分	基本方針	5. 魅力の向上											施策関係部局		
	施策項目	(5)海洋科学研究拠点											企画部		
	施策内容	①研究活動環境の充実													
基本計画におけるKPI (重要業績評価指標)		指標名					基準値					目標値(H33年度)			
		-					-					-			
		-					-					-			
現状と課題		<p>海洋地球研究船「みらい」は、本市の関根浜港を母港として地球温暖化などの環境変動を解明・予測するため、世界の海洋を舞台に活躍している。</p> <p>また、「みらい」の運航や研究をサポートする海洋研究開発機構むつ研究所をはじめ、日本海洋科学振興財団むつ海洋研究所、日本原子力研究開発機構青森研究開発センター及び日本分析センターむつ分析科学研究所が立地し、海洋研究等に関する幅広い分野での研究拠点が整備されている。</p> <p>研究活動の活性化には、研究者や技術者等のスタッフの充実が大切な要素となることから、研究者やその家族が快適に暮らし、研究に打ち込めるような環境づくりのために、居住基盤や交通アクセスの改善等への取組が求められている。</p>													
年次目標 (アウトカム目標)	No.	内容					達成時の効果	No.	内容						
	①	海洋地球研究船「みらい」及び施設見学者 1,000人						①	研修施設や「みらい」を見学することで、子ども達の海洋や科学に対する興味が育まれる。						
	②							②							
	③							③							
平成29年度の主な取組 (主要事業)		<p>◆市内4研究機関とともに海洋・環境科学シンポジウムを開催し、地球環境の保全等に向けた世界レベルの活動とその研究成果について情報発信を行う。【市内4研究機関シンポジウムに係る支援事業】</p> <p>◆海洋地球研究船「みらい」就航20周年記念講演会を開催するとともに、「みらい」及び研究施設の一般公開を実施する。【海洋地球研究船「みらい」就航20周年記念事業】</p>													
年間スケジュール	No.	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①	計画	事務協議	周知	周知	一般公開記念講演									
	②	計画													
	③	計画													

【3】事務事業一覽表

事務事業一覧表（事業費総括表）

（事業費：千円）

基本方針 施策項目 施策内容	事業費					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
1. 元気の向上	779,253	784,922	1,295,665	777,554	704,443	4,341,837
（1）地方創生	86,975	88,746	51,557	34,035	35,535	296,848
①まち・ひと・しごと創生の推進	86,975	88,746	51,557	34,035	35,535	296,848
（2）産業・雇用	648,802	649,087	1,189,363	688,774	614,163	3,790,189
①農林水産業の振興	269,506	270,415	318,498	229,409	229,298	1,317,126
②商工業の振興	349,118	347,905	345,618	350,118	345,618	1,738,377
③エネルギー関連産業の育成	24,320	24,909	519,389	103,389	33,389	705,396
④新たな産業の創造	7,059	7,059	7,059	7,059	7,059	35,295
⑤若者の地元就職の促進	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	7,415
（3）市民協働・コミュニティ	63,731	65,827	65,827	65,827	65,827	327,039
①市民協働の施策展開	1,053	1,053	1,053	1,053	1,053	5,265
②多様な市民活動の支援	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	6,400
③広報広聴の充実	39,765	40,749	40,749	40,749	40,749	202,761
④コミュニティ自治の実現	21,633	22,745	22,745	22,745	22,745	112,613
（4）男女共同参画・女性活躍	289	339	339	339	339	1,645
①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	289	289	289	289	289	1,445
②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	0	50	50	50	50	200
2. 暮らしの向上	6,770,420	7,536,764	9,622,123	5,907,115	6,767,135	36,603,557
（1）健康・福祉	951,893	1,239,554	1,294,519	1,036,840	1,050,481	5,573,287
①子どもすこやか母子保健の充実	129,926	130,230	129,780	129,780	129,780	649,496
②一人ひとりの健康づくりの推進	257,492	257,432	251,255	253,326	255,397	1,274,902
③健康まちづくりの推進	8,769	8,846	8,036	8,746	8,036	42,433
④医療体制の充実	40,008	41,508	43,008	44,508	46,008	215,040
⑤児童福祉の充実	160,530	367,969	405,469	142,969	142,917	1,219,854
⑥高齢者福祉の充実	326,083	405,257	428,659	429,199	440,031	2,029,229
⑦障害者福祉の充実	8,340	8,340	8,340	8,340	8,340	41,700
⑧地域福祉の充実	18,777	18,004	18,004	18,004	18,004	90,793
⑨社会保障の充実	39,927	39,927	39,927	39,927	39,927	199,635
（2）スポーツ	108,832	885,325	2,810,353	325	325	3,805,160
①スポーツ活動の充実	108,832	885,325	2,810,353	325	325	3,805,160
（3）環境	2,473,293	2,481,911	2,481,870	2,481,912	2,481,844	12,400,830
①循環型社会の推進	63,291	72,133	72,154	72,133	72,154	351,865
②自然環境の保全	341,299	341,299	341,299	341,299	341,299	1,706,495
③公害対策の充実	4,135	4,118	4,056	4,119	4,030	20,458
④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	2,064,568	2,064,361	2,064,361	2,064,361	2,064,361	10,322,012
（4）コンパクト・プラス・ネットワーク	1,738,188	1,764,363	1,934,450	1,370,266	2,273,437	9,080,704
①暮らしやすいまちの構築	881,911	1,027,214	1,039,395	1,162,601	1,797,923	5,909,044
②計画的な土地の管理及び利用の促進	8,099	9,633	14,197	17,151	13,044	62,124
③道路基盤の整備	782,779	662,117	815,459	125,115	397,171	2,782,641
④公共交通の確保	16,741	16,741	16,741	16,741	16,741	83,705
⑤広域交通ネットワークの形成	48,658	48,658	48,658	48,658	48,558	243,190
（5）行財政基盤	1,828,214	1,495,611	1,430,931	1,347,772	1,291,048	7,393,576
①効率的な行政運営	213,227	176,748	175,699	173,777	173,666	913,117
②財政の健全化	1,060,000	760,000	800,000	760,000	760,000	4,140,000
③広域行政の推進	554	554	554	554	554	2,770
④公共施設マネジメントの推進	322,958	354,686	268,797	123,651	51,947	1,122,039
⑤情報ネットワークの利活用の推進	231,475	203,623	185,881	289,790	304,881	1,215,650
3. 教育の向上	338,872	534,527	386,304	369,944	346,496	1,976,143
（1）教育	338,872	534,527	386,304	369,944	346,496	1,976,143
①学力の向上	133,474	133,361	140,364	140,364	133,018	680,581
②体育・健康教育の充実	1,182	637	637	637	637	3,730
③夢を育む教育	78,172	79,509	83,375	85,372	85,784	412,212
④地域とともにある学校	2,450	188,253	42,315	2,050	2,450	237,518
⑤社会教育の充実	64,894	66,425	65,892	65,733	65,863	328,807
⑥文化の充実・文化財の保存活用	56,605	64,247	51,626	73,693	56,649	302,820
⑦むつサテライトキャンパスの推進	2,095	2,095	2,095	2,095	2,095	10,475

事務事業一覧表（事業費総括表）

（事業費：千円）

基本方針 施策項目 施策内容	事業費					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
4. 安全の向上	1,419,312	1,494,895	2,262,568	2,162,586	714,323	8,053,684
（1）安全・安心	1,419,312	1,494,895	2,262,568	2,162,586	714,323	8,053,684
①防災対策の充実	279,031	287,411	1,532,881	1,490,627	202,641	3,792,591
②消防・救急体制の充実	125,532	133,581	133,292	127,039	130,183	649,627
③水道の安全・安定供給の確保	1,096,361	1,163,564	685,767	628,039	470,871	4,044,602
④交通安全の確保	34,727	34,727	34,727	34,727	34,727	173,635
⑤防犯対策の充実	6,084	6,084	6,084	6,084	6,084	30,420
5. 魅力の向上	220,519	202,382	170,871	139,844	139,844	873,460
（1）ジオパーク	18,582	18,820	18,820	18,820	18,820	93,862
①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	15,282	16,820	16,820	16,820	16,820	82,562
②資源価値の保全と教育	3,300	2,000	2,000	2,000	2,000	11,300
（2）観光・物産	194,739	175,183	143,672	112,645	112,645	738,884
①広域連携による観光プロモーション	81,679	71,689	44,792	19,215	19,215	236,590
②稼げる物産プロモーション	113,060	103,494	98,880	93,430	93,430	502,294
（3）景観	0	0	0	0	0	0
①景観の向上と保全	0	0	0	0	0	0
（4）国際・都市間交流	7,098	8,329	8,329	8,329	8,329	40,414
①諸地域との親善・友好	7,098	8,329	8,329	8,329	8,329	40,414
（5）海洋科学研究拠点	100	50	50	50	50	300
①研究活動環境の充実	100	50	50	50	50	300
合計（※再掲分を除く）	9,452,555	10,474,431	13,688,005	9,325,039	8,638,737	51,578,767

※再掲分を除く

複数の施策に該当する事務事業（再掲事業）があるため、年度毎の事業費合計欄において、2重計上とならないよう算出している。

È Æ È Ä ' e ³ D È Ä 1 6 ± E

) È Ä %! ' *

				&	' S	' %	' &	' '	' '
				++ z&'	+, (z- &&	%z& z**)	+++z) (+S(z('	(z' (%z, '+
				, z-+)	, z+()%z) +	' (zS)	')z(')	&*z, (,
				, z-+)	, z+()%z) +	' (zS)	')z(')	&*z, (,
				., '.	., '.	., '.	., '.	., '.	., '.
) , z(- fl *S, , S & fl) +z- S fl *S&& fl) +z' & fl -z** fl) *z+' - fl -zS+ fl) *z% (()) z)* - fl , z(fl +z, ' fl	/
% fl&L L				(z(' *	&*-*	S	S	S	+z(S)
		fl # L	% zS & fl & fl	% zSSS	% zSSS	!	!	!	/
fl L % fl&L L				&(SS	&(SS	S	S	S	(z, SS)
		fl # L	!	&	&	!	!	!	/
% fl&L L				%zSSS	%zSSS	%zSSS	%zSSS	%zSSS) zSSS
		#	!	%	%	%	%	%	/
) ! fl&L L				&- &S	(z% *	S	S	S	+zS) *
		#	!	% zSSS	' S zSSS	!	!	!	/
³ ³ % fl&L L				&&+	&&+	S	S	S	(z) + (
		#	% z+ fl & fl	%z- SS	%z- SS	!	!	!	/
		#	% S fl & fl	% S	% S	!	!	!	/
³ ³ % fl&L L				' z, %	' z, %	' z, %	' z, %	' z, %	% zS+)
		#	fl & '+' fl & fl	, %	, %	, %	, %	, %	/
		#	fl & fl	&S	&S	&S	&S	&S	+z(%)
% fl&L				%z(, '	%z(, '	%z(, '	%z(, '	%z(, '	+z(%)
		fl # L	fl & % fl & fl	&S	&S	&S	&S	&S	/
		#	fl & % fl & fl	&S	&S	&S	&S	&S	/

